

地球温暖化対策に関するアンケート
報告書

2022年8月31日作成

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

1	調査の概要	1
2	調査結果	2
2-1	Q1.年齢（単一回答）	2
2-2	Q2.家族構成（単一回答）	2
	■地球温暖化への関心について	3
2-3	Q3.地球温暖化による気候変動の影響が出ていると思うか（単一回答）	3
2-4	Q4.地球温暖化による気候変動の影響が出ていると思う場面（複数回答）	3
2-5	Q5.地球温暖化対策はだれが取り組むべきか（複数回答）	4
2-6	Q6.泉大津市がゼロカーボンシティを表明したことを知っていたか（単一回答）	5
2-7	Q7.カーボンゼロ（カーボンニュートラル）はだれが取り組むべきか（複数回答）	6
2-8	Q8.泉大津市は温暖化対策に積極的に取り組んでいると思うか（単一回答）	7
2-9	Q9.Q8の選択肢を回答した理由	7
2-10	Q10-1.泉大津市の行ってきた地球温暖化対策のうち、今後取り組みを推進するべき対策	9
2-11	Q10-1.今後取り組みを推進するべき地球温暖化対策 1位を選んだ理由	10
2-12	Q10-2.泉大津市の行ってきた地球温暖化対策のうち、見直す必要がある対策	16
2-13	Q10-2.見直す必要がある地球温暖化対策 1位を選んだ理由	17
2-14	Q10-3.泉大津市の行ってきた地球温暖化対策のうち、興味のある対策	22
2-15	Q10-3.興味のある地球温暖化対策 1位を選んだ理由	23
2-16	Q10-4.1~26以外で取り組むべき地球温暖化対策	28
2-17	Q11-1.泉大津市の地域環境基金活用事業のうち、今後取り組みを推進するべき事業	30
2-18	Q11-1.今後取り組みを推進するべき地域環境基金活用事業 1位を選んだ理由	31
2-19	Q11-2.泉大津市の地域環境基金活用事業のうち、見直す必要がある事業	36
2-20	Q11-2.見直す必要がある地域環境基金活用事業 1位を選んだ理由	37
2-21	Q11-3.泉大津市の地域環境基金活用事業のうち、興味のある事業	41
2-22	Q11-3.興味のある地域環境基金活用事業 1位を選んだ理由	42
2-23	Q11-4.ア～ナ以外で取り組むべきもの	46
2-24	Q12.「COOL CHOICE」を知っていたか（単一回答）	48
2-25	Q13.日頃取り組んでいる省エネ行動（複数回答）	49
2-26	Q14.省エネ行動に取り組んでいない理由	50
2-27	Q15.省エネルギー機器（省エネ機器）導入状況（単一回答）	51
2-28	Q16.現在導入している省エネルギー機器（省エネ機器）（複数回答）	53
2-29	Q17.今後導入したい省エネ機器（複数回答）	54
2-30	Q18.エコカー導入状況（単一回答）	55
2-31	Q19.現在導入しているエコカー（複数回答）	57
2-32	Q20.今後導入したいエコカー（複数回答）	57
2-33	Q21.再生可能エネルギーの導入状況（単一回答）	58
2-34	Q22.現在自宅に導入している再生可能エネルギー（複数回答）	59
2-35	Q23.今後導入したい再生可能エネルギー（複数回答）	59
2-36	Q24.（太陽光発電を導入している方への設問）固定価格買取（FIT）制度で売電しているか（単一回答）	60
2-37	Q25.（太陽光発電を導入している方への設問）蓄電池の導入状況（単一回答）	60

<u>2-38</u> <u>Q26. (FIT 制度で売電している方への設問) FIT 制度期間満了後の発電電力使用に関する意向</u> <u>(単一回答)</u>	61
--	----

1 調査の概要

図表 1-1 調査概要

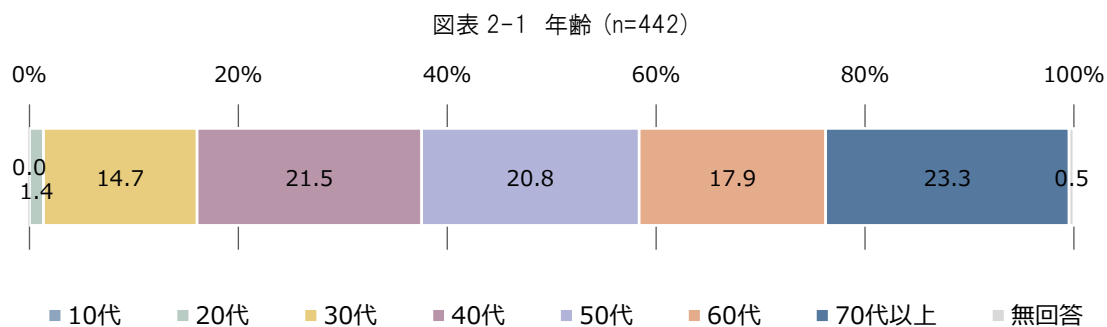
調査対象	泉大津市内居住者のうち地域環境基金活用事業により下記の補助または助成を受けた方 ・雨水タンク購入補助金 ・高効率給湯器設置補助金 ・生ごみ処理機購入助成金 ・太陽光発電システム設置補助金 ・EV用充電スタンド設置費補助金 ・幼児2人同乗用自転車購入助成金
調査期間	2022年7月29日～8月11日
調査方法	書面による郵送配布・郵送回収アンケート
配布・回収数	配布数：1,789通、 <u>返送数：108通</u> 、回収数：442通、（回収率 <u>26.324.7%</u> ）

2 調査結果

■回答者属性

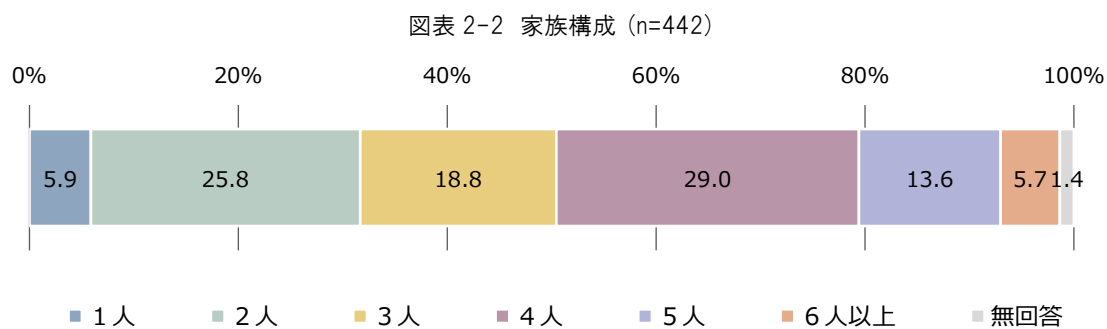
2-1 Q1.年齢（単一回答）

年齢について聞いたところ、「70代以上」が23.3%（103件）と最も多く、次いで「40代」が21.5%（95件）、「50代」が20.8%（92件）となっている。



2-2 Q2.家族構成（単一回答）

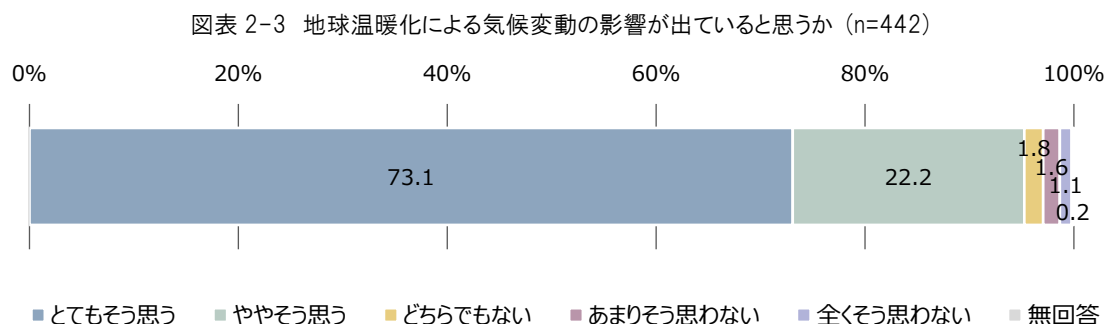
家族構成について聞いたところ、「4人」が29.0%（128件）と最も多く、次いで「2人」が25.8%（114件）、「3人」が18.8%（83件）となっている。



■地球温暖化への関心について

2-3 Q3.地球温暖化による気候変動の影響が出ていると思うか（単一回答）

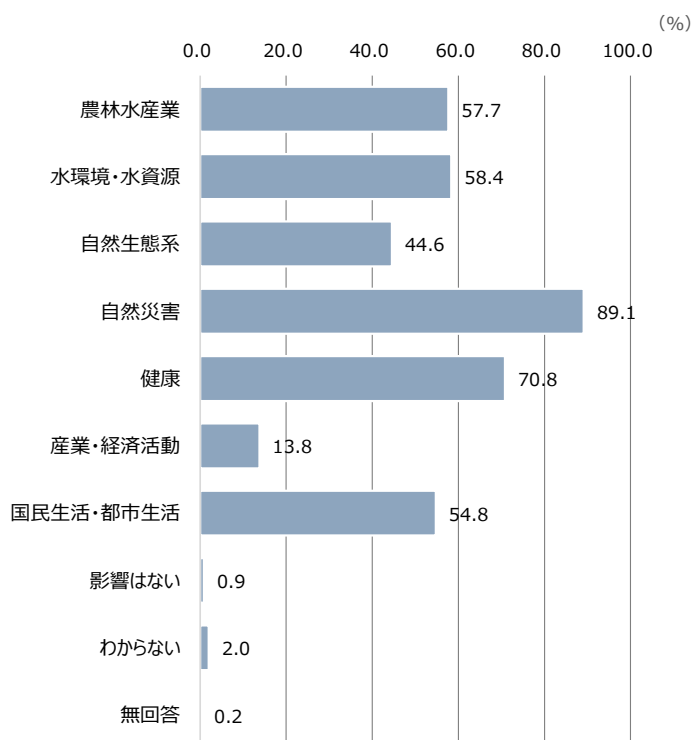
地球温暖化による気候変動の影響が出ていると思うかについて聞いたところ、「とてもそう思う」が73.1%（323件）と最も多く、次いで「ややそう思う」が22.2%（98件）となっている。両者を合計すると、回答者の95%以上が地球温暖化による気候変動の影響が出ていると考えている。



2-4 Q4.地球温暖化による気候変動の影響が出ていると思う場面（複数回答）

地球温暖化による気候変動の影響が出ていると思う場面について聞いたところ、「自然災害」が89.1%（394件）と最も多く、次いで「健康」が70.8%（313件）であった。また、前述の2つに加え、過半数の回答者が「水環境・水資源」（58.4%/258件）、「農林水産業」（255件/57.7%）、「国民生活・都市生活」（242件/54.8%）について、地球温暖化による気候変動の影響がでていると回答した。

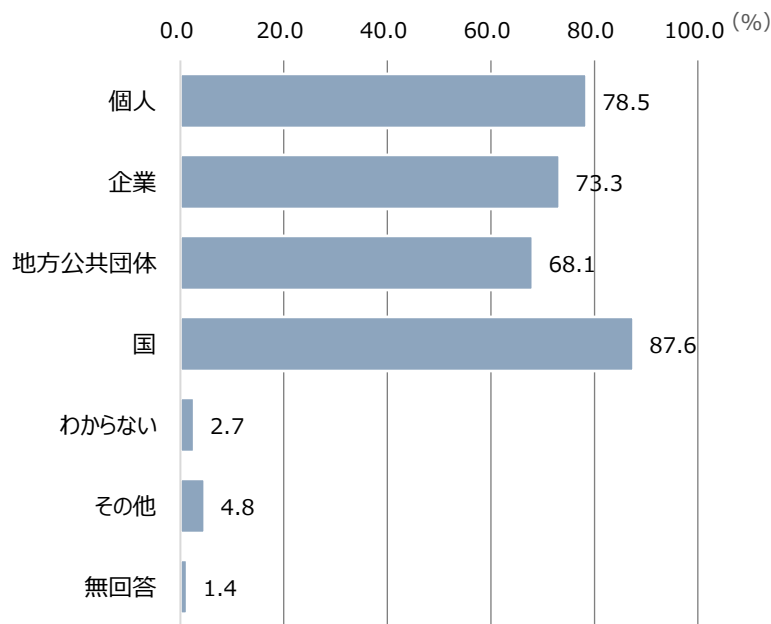
図表 2-4 地球温暖化による気候変動の影響が出ていると思う場面（n=442）



2-5 Q5.地球温暖化対策はだれが取り組むべきか（複数回答）

地球温暖化対策はだれが取り組むべきかについて聞いたところ、「国」が87.6%（387件）と最も多く、次いで「個人」が78.5%（347件）、「企業」が73.3%（324件）となっている。また、選択肢として設けた「個人」「企業」「地方公共団体」「国」の全てが65%以上となっている。このことから、多くの回答者が地球温暖化対策は複数の主体が取り組むべき課題であると考えていることが伺える。

図表 2-5 地球温暖化対策はだれが取り組むべきか（n=442）



< 「その他」の内容 >

- 全世界・全人類：8件
- 全国民・皆：5件
- 自治会：2件
- 国が方向性、方針を決めて国民ができることをする
- 受益者
- 全ての人、組織等が同じ方向に進むことが必要であると思う
- 地球温暖化の真偽を確かめることが必要
- 温室効果ガスと地球温暖化は本当に因果関係があるのか疑問を感じる
- 二酸化炭素と温暖化は関係ない
- どうしようもない気がする

■泉大津市の温暖化対策について

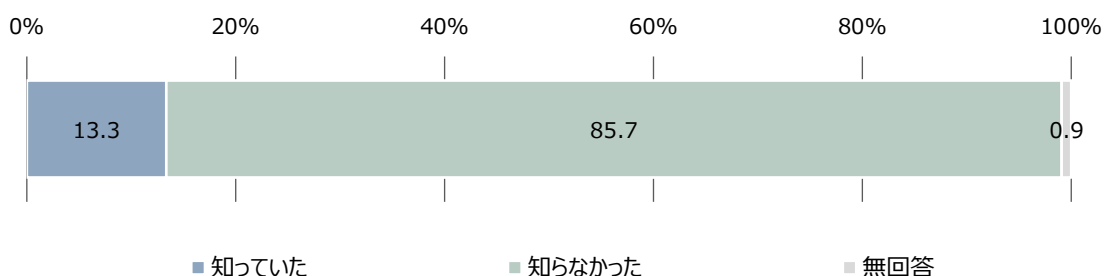
2-6 Q6.泉大津市がゼロカーボンシティを表明したことを知っていたか（単一回答）

泉大津市がゼロカーボンシティを表明したことについて、回答者の85.7%が「知らなかった」（379件）と回答した。

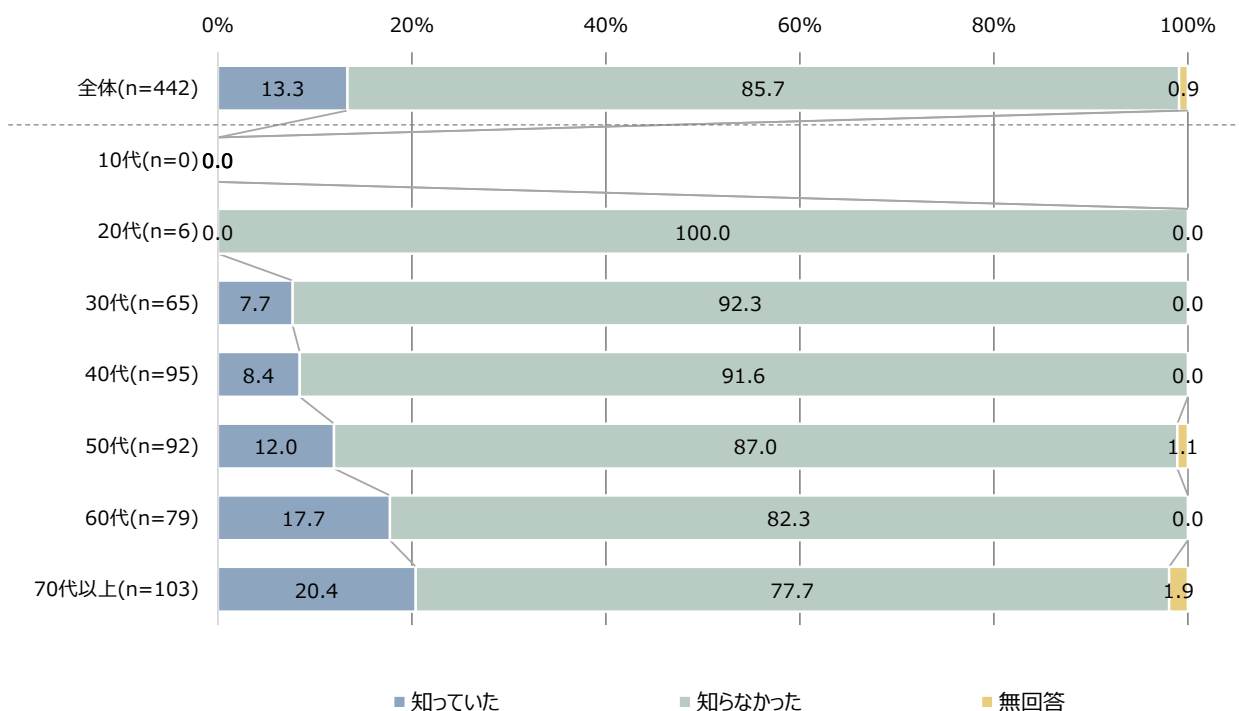
年齢別で見ると、年齢が高い層ほど泉大津市のゼロカーボンシティ表明を認知している割合が高くなっており、40代以下では「知っていた」割合は10%未満である一方、70代では約20%が認知している。

本調査対象者は泉大津市環境課の補助金・助成金の利用者であり、市民の中で相対的に市の事業や環境課の取組みに興味関心が高い層と考えられることから、泉大津市のゼロカーボンシティ表明についての市民の認知度は高いとは言えず、特に若年世代を中心に市民へのPRが必要である。

図表 2-6 泉大津市がゼロカーボンシティを表明したことを知っていたか（n=442）



図表 2-7 年齢別にみた泉大津市がゼロカーボンシティを表明したことを知っていたか（n=442）



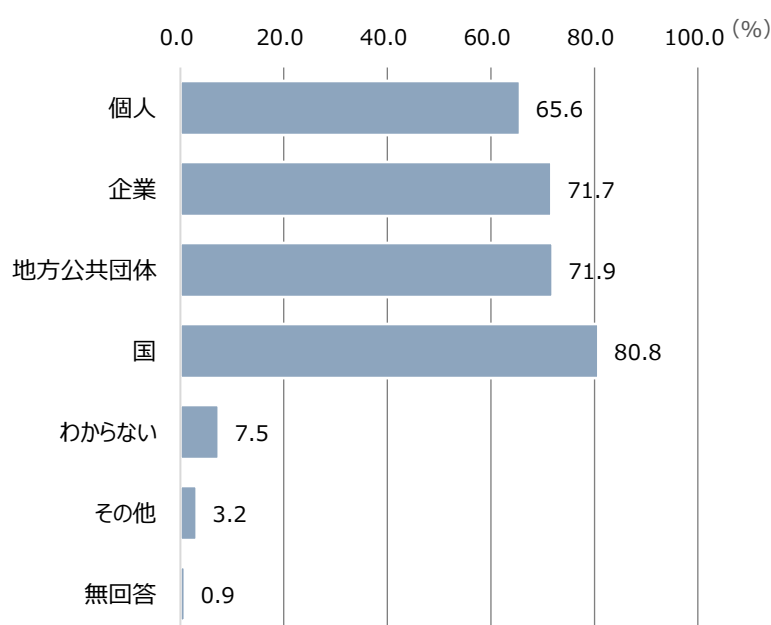
2-7 Q7.カーボンゼロ（カーボンニュートラル）はだれが取り組むべきか（複数回答）

カーボンゼロはだれが取り組むべきかについて聞いたところ、「国」が80.8%（357件）と最も多く、次いで「地方公共団体」が71.9%（318件）、「企業」が71.7%（317件）、「個人」が65.6%（290件）となっている。

選択肢の全てが65%の回答者に選択されており、多くの回答者が複数の主体が取り組むべき課題であると考えていることが伺える。

地球温暖化対策はだれが取り組むべきかという設問に対して、国に次いで、個人、企業、地方公共団体となった一方で、本設問では国に次いで地方公共団体が多く、選択肢の中では個人が最も少なかったことについて、本設問が「泉大津市の温暖化対策」としての間であったことが影響していると考えられる。

図表 2-8 カーボンゼロはだれが取り組むべきか（n=442）

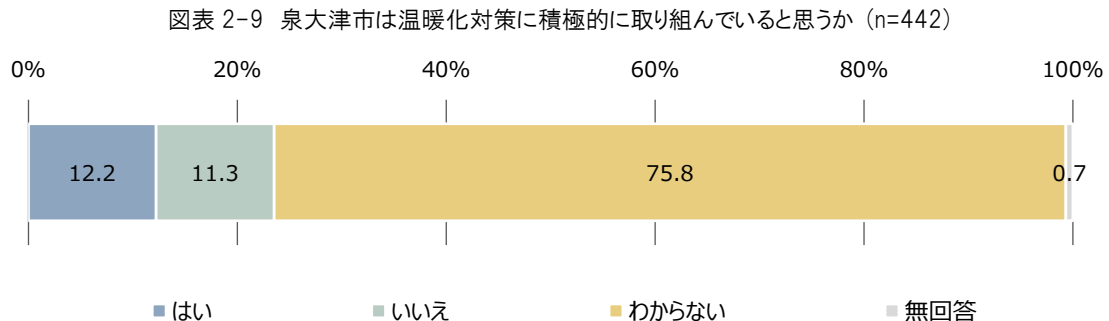


< 「その他」の内容 >

- 全世界・全人類：5件
- 全国民・皆：3件
- 自治会
- 役所
- 取り組むべきか否かの判断が必要
- 無意味
- 取組を止めるべき

2-8 Q8.泉大津市は温暖化対策に積極的に取り組んでいると思うか（単一回答）

泉大津市は温暖化対策に積極的に取り組んでいると思うかについて聞いたところ、「わからない」が75.8%（335件）と最も多かった。「はい」（12.2%/54件）、「いいえ」（11.3%/50件）はほぼ同数であった。



2-9 Q9.Q8の選択肢を回答した理由

Q8について、「はい」の選択肢を選んだ理由を聞いたところ、主な理由は以下のとおりであった。

- 市政だより・HPなどでPRしている:7件
- 補助金を活用した:6件
- 対策・事業・補助金施策がある:5件
- グリーンカーテンの取組がある:4件
- ゼロカーボンシティの表明をした:3件
- アンケート・参考資料を見て:3件

同じく、「いいえ」の選択肢を選んだ理由を聞いたところ、主な理由は以下のとおりであった。

- 情報発信・PRが少なく、取組が分かりにくい・見えない・知らない:23件
- 温暖化対策の取組が不十分である。:6件
- 緑化の取組が不十分:2件
- アンケートを紙で行っているから:1件
- 温暖化対策より市のことをやってほしい:1件
- 公園の木や道路の街路樹を減らしている:1件

同じく、「わからない」の選択肢を選んだ理由を聞いたところ、主な理由は以下のとおりであった。

- 情報発信・PRが少なく、取組が分かりにくい・見えない・知らない:113件
- 対策の効果が見えない・わからない:10件
- 意識した事がない:8件

- 温暖化対策の取組が不十分である。:3 件
- 国が主導で取り組むべき:2 件
- 積極的かはわからない:2 件
- 市役所が中心となって取り組むべき:1 件
- 補助金で市民に取り組んでもらう:1 件
- カーボンニュートラルに賛成できない:1 件
- 補助金の使い勝手が悪い:1 件
- アルザ通りのイルミネーションは無駄と思う:1 件
- 市町村では強制力がない。:1 件

2-10 Q10-1.泉大津市の行ってきた地球温暖化対策のうち、今後取組みを推進すべき対策

泉大津市の行ってきた地球温暖化対策のうち、今後取組みを推進すべき対策を 1 位～3 位まで3つ聞いた。

1 位に選ばれた回答は、無回答を除くと、「緑化の推進」が 11.8% (52 件) と最も多く、次いで「一般家庭ごみの減量」が 7.9% (35 件)、「エコハウス奨励金の創設、エコカー購入補助」が 7.0% (31 件) となっている。

また、上位 3 位までに選ばれた回答で見ると、無回答を除くと、「緑化の推進」が 22.4% (99 件) と最も多く、次いで「エコハウス奨励金の創設、エコカー購入補助」が 18.1% (80 件)、「公共施設における太陽光発電システムの設置」が 17.4% (77 件) となっている。

図表 2-10 今後取組みを推進するべき地球温暖化対策【1 位】(n=442)

	件数	割合(%)
4. 緑化の推進	52	11.8
3. 一般家庭ごみの減量	35	7.9
22. エコハウス奨励金の創設、エコカー購入補助	31	7.0
17. 公共施設における太陽光発電システムの設置	29	6.6
5. 公共施設や防犯灯・道路灯などの LED 化	23	5.2
26. 環境学習	21	4.8
19. 太陽光発電システム設置補助金	17	3.8
10. 新しく公共施設を作る際、省 CO ₂ モデル建築物の建築	15	3.4
6. 省エネ・省 CO ₂ 機器・高効率給湯器への転換	14	3.2
7. 打ち水運動の推進、ドライリストや日差しよけ利用の普及	9	2.0
14. 燃料電池等の分散型エネルギー機器の導入検討	8	1.8
1. 公用自転車の活用推進	7	1.6
13. ガスコージェネレーションの導入検討	6	1.4
18. 太陽光発電システム普及促進のための低金利ローン制度の創設	6	1.4
21. 泉大津市役所におけるエコオフィスの推進	6	1.4
2. パーク&ライド	5	1.1
20. 公用車へのエコカーの導入と利用促進	5	1.1
12. E S C O 事業の推進	4	0.9
16. エコドライブの普及・啓発	4	0.9
8. ゴーヤやアサガオ等によるグリーンカーテンの普及促進	3	0.7
23. エコ診断の推進	3	0.7
24. 地場産業（毛布・ニット）を活用したウームビズの推進	3	0.7
11. 省エネ・省 CO ₂ 診断の受診促進	2	0.5
15. ヒートポンプ技術の活用検討	2	0.5
9. 環境家計簿の普及と啓発	1	0.2
25. 友好都市等との交流	0	0.0
無回答	131	
計	442	

図表 2-11 今後取組みを推進するべき地球温暖化対策【1～3位】(n=442)

	件数	割合(%)
4. 緑化の推進	99	22.4
22. エコハウス奨励金の創設、エコカー購入補助	80	18.1
17. 公共施設における太陽光発電システムの設置	77	17.4
5. 公共施設や防犯灯・道路灯などのLED化	74	16.7
3. 一般家庭ごみの減量	66	14.9
19. 太陽光発電システム設置補助金	52	11.8
26. 環境学習	52	11.8
6. 省エネ・省CO2機器・高効率給湯器への転換	50	11.3
10. 新しく公共施設を作る際、省CO2モデル建築物の建築	47	10.6
18. 太陽光発電システム普及促進のための低金利ローン制度の創設	37	8.4
1. 公用自転車の活用推進	25	5.7
14. 燃料電池等の分散型エネルギー機器の導入検討	25	5.7
7. 打ち水運動の推進、ドライリストや日差しよけ利用の普及	24	5.4
8. ゴーヤやアサガオ等によるグリーンカーテンの普及促進	22	5.0
21. 泉大津市役所におけるエコオフィスの推進	21	4.8
20. 公用車へのエコカーの導入と利用促進	20	4.5
24. 地場産業（毛布・ニット）を活用したウォームビズの推進	18	4.1
16. エコドライブの普及・啓発	15	3.4
2. パーク&ライド	14	3.2
13. ガスコージェネレーションの導入検討	12	2.7
11. 省エネ・省CO2診断の受診促進	9	2.0
12. ESCO事業の推進	9	2.0
23. エコ診断の推進	9	2.0
15. ヒートポンプ技術の活用検討	5	1.1
9. 環境家計簿の普及と啓発	4	0.9
25. 友好都市等との交流	2	0.5
無回答	458	
計	1,326	

2-11 Q10-1.今後取組みを推進するべき地球温暖化対策 1位を選んだ理由

今後取組みを推進するべき地球温暖化対策の1位として選んだ回答について、選択した理由について聞いたところ、以下の回答があった。

公用自転車の活用推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全て、そうすべき。 ・ 市が小さいから自転車で十分。 ・ まずは知るべき。 ・ 排気ガス削減のため。 ・ 環境に優しく渋滞がない自転車を自治体が積極的に活用する必要があるため。
パーク&ライド	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余分な電力を利用できる。 ・ 車と電車等効率よく使って省エネルギーに対応する。
一般家庭ごみの減量	<ul style="list-style-type: none"> ・ いまだ約束を守らない住人がいる。 ・ 効果が大きいと思う。 ・ 地道だが最も現実性が高い。 ・ 個々が意識すれば改善できると思う。 ・ 一番取り組みやすい。 ・ 個人的に取り組みやすい。 ・ 使用可能なものまでゴミに出しているものもある。 ・ 何も調べず業者のいうままにエネファームを付けたが大失敗。

-
- ・ 特に今のご時世太陽熱がベストと思う。
 - ・ 自分がすぐにできることだから。
 - ・ 長期に実施する体制を構築できれば効果は大きいかと。
 - ・ ごみが多すぎる。
 - ・ 補助金が欲しいから。
 - ・ 市民ひとりひとりの意識を高めるため。
 - ・ 一番効果が期待できる。
 - ・ ごみ分別出しの更なる推進（分別の細分化）現状の分別回収後、それぞれどうなっているのか？どう活かされているのか？
 - ・ 一般家庭ごみの減量はまず誰でも取り組めるものだから。
 - ・ 個人で継続して取り組みやすい。
 - ・ ゴミの分別などの意識を持ったほうがよい。
 - ・ 設備に関係なく誰でも取り組める対策。
 - ・ まず CO2 を生み出す原因を減らす必要がある。
 - ・ 個人の心がけで一番取り組めるから。
 - ・ 個人でも取り組める。
 - ・ 現実的で即効性もあるため。
 - ・ 温暖化対策。
 - ・ 個人意識の高揚。
-

緑化の推進

- ・ 個人で始められるから。
 - ・ 空地がない。
 - ・ 緑の多い公園が少ない。
 - ・ 緑の手入れがきちんとされていない。
 - ・ 夏は草がボーボーで嫌。
 - ・ 工場の跡地など緑地化推進。
 - ・ 街づくり（独自の）ができる。
 - ・ 緑があると涼しいので。
 - ・ 夏の暑さを和らげてほしい。
 - ・ 公園でも緑が少ない。
 - ・ 市街地公園等緑が少ない。
 - ・ 緑化すると涼しくなる。
 - ・ アスファルトが熱をためるから。
 - ・ 日陰をもっと作るために。
 - ・ 個人ではできないので。
 - ・ 都市化における緑化事業は自然との調和で必要と思う。
 - ・ これ以上破壊していくと人類が終わりに近づいていく気がしない。
 - ・ 緑化して羊を飼育して市民と羊のふれあいの場を作る。
 - ・ 身近なことだから。
 - ・ 泉大津市には広い緑地がない。
 - ・ 市には森林公園が必要。
 - ・ 緑が少ないと感じる。
 - ・ 緑が少ないと感じる。
 - ・ 現在の状況が悪すぎる。
 - ・ 建物ばかりで自然がなくなり未来を支える子どもの遊び場がない。
-

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町そのものが目に見えて変わっていくことで意識することも多くなると思う。 ・ 緑の樹木が少ないので大津川河川敷に樹木を植え市民の憩いの場を作って頂ければと思う。 ・ 環境も良くなる。 ・ 目に見えてよくわかることだから多くの市民の意識に働きかけると思うから。 ・ 都市の美化につながる。 ・ 温暖化を少しでも遅らせる。 ・ 子どもの頃はまだ緑が多かったが最近は減った。 ・ 緑は環境にも良く、人の心にも良いと思う。 ・ 自然の力を活用すべき。 ・ 緑化が CO2 を吸収してくれるから。 ・ 現在は大きな公園や幹線道路に限られているように見えるため。 ・ 空気が暑いから。 ・ できるものから。 ・ 市内に緑が少ないと思う。 ・ 市内全般に緑が少ない。
公共施設や防犯灯・道路灯などのLED化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民にとって必要。 ・ 防犯灯、道路灯などLEDはわかりやすい。 ・ 実行しやすく安くつく。 ・ 夜道は暗い場所多すぎる。 ・ 長い目で見て費用がおさえられる。 ・ はやくすることに意義がある。 ・ 省エネ、節電はやったほうがよい。 ・ 明るくなり、かつ節電にもなる。 ・ 価格や技術面などを考えても費用対効果が高い。 ・ まだLEDに変わっていないところも多いため。 ・ LED化して灯を長持ちさせる。 ・ 取り組みやすいと思った。 ・ 暗いから。 ・ 一番効果がありそう。
省エネ・省CO2 機器・高効率給湯器への転換	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一番効果があると思うから。 ・ 化石燃料の削減。 ・ 各個々でやりやすい。 ・ 効率が良さそうだから。 ・ 毎日使用する機器の効率化がよい。 ・ 家庭の省エネ、高効率給湯器等のエネルギー負担の見直しを考えるべき。 ・ CO2削減は必須。 ・ 民間でできる施策で貢献度が高いと思う。
打ち水運動の推進、ドライミストや日差しよけ利用の普及	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時に使用できるし、公共の所にはたくさん設置して欲しい。 ・ 街全体、地域全体の取組を増やすことが一番効果はあると思う。 ・ ドライミストの活用を進めてもらいたい。 ・ 水道代が高い。 ・ 自分たちでもやれる事。

ゴーヤやアサガオ等によるグリーンカーテンの普及促進	<ul style="list-style-type: none"> 費用もそれほどかからず一鉢ずつでも誰でもができると思う。 今年より実施。
環境家計簿の普及と啓発	<ul style="list-style-type: none"> 取組の成果が見える方が良い。
新しく公共施設を作る際、省CO2モデル建築物の建築	<ul style="list-style-type: none"> 新技術はどんどん活用していくべき。 実現できそう。 自然に優しい建築はこれから大切だと思う。 新しい施設からの取組が第一と考える。 新しく作る建築物をCO2削減のモデルとあるべきだから。 将来の安全。 公共施設よりゼロカーボンを目指す。 CO2削減効果が比較的高く、対外的にアピールできる。 泉大津がモデルとなり全国が取組むとより効果大きい。 設置するだけで地球温暖化に参加できるが、イニシャルコストがかかるのがネックになるので。
省エネ・省CO2診断の受診促進	<ul style="list-style-type: none"> 診断することで意識を高める活動につながる。
ガスコージェネレーションの導入検討	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー総合効率が高いが設備費が高額な為、導入しやすいよう、補助金を上げて欲しい。 実用化されており意味のある技術だから。
燃料電池等の分散型エネルギー機器の導入検討	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーの多様化が必要。 今後燃料電池が主役になると思う。 地球温暖化のみならず分散型エネルギーの検討が必要と感じるため（例：災害等）。 興味がある。
ヒートポンプ技術の活用検討	<ul style="list-style-type: none"> これから必要になってくると思う。
エコドライブの普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> 温室ガスの排出を減らすべきである為。エコドライブで安全運転。 誰でも簡単に実践できるので。
公共施設における太陽光発電システムの設置	<ul style="list-style-type: none"> 自然エネルギーを進める上で自治体の活用する場所は多いはず。 屋根に設置する為邪魔にならない。 見える化が必要と思う。 公共施設で使って市民にアピールすべき。 太陽エネルギーという未知を活用すべき。 太陽光発電は費用がかかるので、個人より公共施設ですすめてほしい。 災害時の際基幹となる公共施設を有効に活用するため。 電力の自給化を推進して原発を抑える。 国を挙げて化石燃料からの脱却促進を図るべき。 風力発電等の再生可能エネルギーの積極的利用が現時点で効果があると思う。 自然エネルギーの活用は地球温暖化対策の中でも重要だと思う。 電気代が高いままでは。 火力発電の依存度を少しでも下げるため。 公的なところから進めやすいと思う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大容量の設置が可能。 ・ 太陽光発電は個人ではなかなか無理がある。 ・ 自宅でも取り組んでいるため。 ・ 市民に目に見える形で対策活動のアピール。 ・ すぐに実現できるから。
太陽光発電システム普及促進のための低金利ローン制度の創設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球温暖化対策。 ・ 太陽光を一般家庭に導入したらいいと思う。 ・ ガソリン高騰しているため。 ・ 火力発電の限界。 ・ 町全体の太陽光発電を進めるために必要。
太陽光発電システム設置補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光をもっと広めていきたい。 ・ 一般市民が最も取組がしやすいと考える。 ・ 電力がエネルギーの母体、そこにエネルギーが必要。 ・ 電気が主要であるため。 ・ 自然活用の推進。 ・ 都市部で活用できる最も可能性があるのが太陽光発電だから。 ・ 集合住宅のため設置できないが、各家庭が発電できたらと思う。 ・ 補助金をもっとあると皆、太陽光発電の機械をつけようと思う。 ・ 数率向上。 ・ 地球温暖化防止に役立つと思う。 ・ 現在メリットがない。 ・ 太陽光発電を設置している。 ・ 電力の半分位電気代が少ない。
公用車へのエコカーの導入と利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ EVに補助金。 ・ 公用車によるカーボンゼロのアピールか。 ・ 車の排気ガスが一番影響を与えていると思う。 ・ 温室効果ガス排出量ゼロを目指して。
泉大津市役所におけるエコオフィスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所が全家庭の見本となる感じ。 ・ 市役所が手本になって欲しい。
エコハウス奨励金の創設、エコカー（電気・天然ガス自動車等）購入補助	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旧家が多く、エネルギー対策が遅れている。 ・ 市民に対しての補助。 ・ 補助金が出るなら購入検討する人が増えると思う。 ・ リフォーム補助金制度、リフォームする際に断熱効果のあるガラス、壁を設置採用させる。 ・ 充電設備が整えば利用したい。 ・ コストは必要だが効果は大きい。 ・ 国が推進していて一番実現しやすい。 ・ CO2を削減できる。 ・ 補助すれば増えると思う。 ・ 個人の意識を高める。 ・ また導入のしやすさ。 ・ すぐに取り組みやすい。 ・ 電気自動車は高額で購入にふみきれない。 ・ 電気自動車が主流となってくるだろうから。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光電池、エネファームを導入しているが個人的負担が大きいので継続的にバックアップが欲しい。 ・ 個人の取組として効果がありそう。 ・ 電気自動車を主流にするため。 ・ 購入補助があれば普及すると思う。 ・ 買うきっかけになる。 ・ 補助してもわないとなかなかできないことだから。 ・ エコカーを増加させるため。
エコ診断の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康に興味があるから。 ・ 自分のエコ力を知るべきだと思うから。
地場産業（毛布・ニット）を活用したウォームビズの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地場産業発展。 ・ 地場産業を活性化させるため。
環境学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ やっぱり環境が大切だと思ったから。 ・ 学ぶことから始めるべき。 ・ 出来ることから。 ・ 知識は必要。 ・ 市民の知識がないから。 ・ 地球温暖化の真偽、影響の科学的根拠が不明。 ・ 子供のうちから学ぶ機会を作る。 ・ 知識があれば自然と行動するようになっていくと思う。 ・ 地球環境の現状を知ってから取り組むべき。 ・ いずれは子供達の問題になるので。 ・ 学校の授業などで取り組めばより広く伝わると思う。 ・ 子供から大人まで学習することで理解が深まる。 ・ 必要性を知ってもらい制度で強制しやすくなる。 ・ 知ることから始める。 ・ 意識改革が必要と思う。 ・ 何をするにもまずは知識と理解が必要だと考えるから。 ・ 温暖化対策の具体的な例などを教えて欲しい。

2-12 Q10-2.泉大津市の行ってきた地球温暖化対策のうち、見直す必要がある対策

泉大津市の行ってきた地球温暖化対策のうち、見直す必要がある対策を1位～3位まで3つ聞いた。

1位に選ばれた回答は、無回答を除くと、「一般家庭ごみの減量」が4.8%（21件）と最も多く、次いで「ゴーヤやアサガオ等によるグリーンカーテンの普及促進」、「太陽光発電システム普及促進のための低金利ローン制度の創設」、「友好都市等との交流」が3.6%（16件）となっている。

また、上位3位までに選ばれた回答で見ると、無回答を除くと、「太陽光発電システム設置補助金」が8.8%（39件）と最も多く、次いで「一般家庭ごみの減量」が8.6%（38件）、「ゴーヤやアサガオ等によるグリーンカーテンの普及促進」が8.1%（36件）となっている。

図表 2-12 見直す必要がある地球温暖化対策【1位】(n=442)

	件数	割合(%)
3. 一般家庭ごみの減量	21	4.8
8. ゴーヤやアサガオ等によるグリーンカーテンの普及促進	16	3.6
18. 太陽光発電システム普及促進のための低金利ローン制度の創設	16	3.6
25. 友好都市等との交流	16	3.6
19. 太陽光発電システム設置補助金	15	3.4
4. 緑化の推進	13	2.9
26. 環境学習	13	2.9
20. 公用車へのエコカーの導入と利用促進	11	2.5
17. 公共施設における太陽光発電システムの設置	10	2.3
22. エコハウス奨励金の創設、エコカー購入補助	10	2.3
13. ガスコージェネレーションの導入検討	9	2.0
1. 公用自転車の活用推進	8	1.8
2. パーク&ライド	8	1.8
7. 打ち水運動の推進、ドライミストや日差しよけ利用の普及	8	1.8
5. 公共施設や防犯灯・道路灯などのLED化	7	1.6
23. エコ診断の推進	6	1.4
24. 地場産業（毛布・ニット）を活用したウォームビズの推進	6	1.4
21. 泉大津市役所におけるエコオフィスの推進	5	1.1
11. 省エネ・省CO2診断の受診促進	4	0.9
10. 新しく公共施設を作る際、省CO2モデル建築物の建築	3	0.7
14. 燃料電池等の分散型エネルギー機器の導入検討	3	0.7
16. エコドライブの普及・啓発	3	0.7
9. 環境家計簿の普及と啓発	2	0.5
12. ESCO事業の推進	1	0.2
15. ヒートポンプ技術の活用検討	1	0.2
6. 省エネ・省CO2機器・高効率給湯器への転換	0	0.0
無回答	227	
計	442	

図表 2-13 見直す必要がある地球温暖化対策【1～3 位】(n=442)

	件数	割合(%)
19. 太陽光発電システム設置補助金	39	8.8
3. 一般家庭ごみの減量	38	8.6
8. ゴーヤやアサガオ等によるグリーンカーテンの普及促進	36	8.1
25. 友好都市等との交流	34	7.7
18. 太陽光発電システム普及促進のための低金利ローン制度の創設	32	7.2
17. 公共施設における太陽光発電システムの設置	29	6.6
26. 環境学習	28	6.3
20. 公用車へのエコカーの導入と利用促進	27	6.1
7. 打ち水運動の推進、ドライミストや日差しよけ利用の普及	25	5.7
22. エコハウス奨励金の創設、エコカー購入補助	24	5.4
9. 環境家計簿の普及と啓発	21	4.8
23. エコ診断の推進	21	4.8
24. 地場産業（毛布・ニット）を活用したウォームビズの推進	20	4.5
4. 緑化の推進	19	4.3
1. 公用自転車の活用推進	17	3.8
16. エコドライブの普及・啓発	16	3.6
21. 泉大津市役所におけるエコオフィスの推進	16	3.6
5. 公共施設や防犯灯・道路灯などのLED化	15	3.4
2. パーク&ライド	13	2.9
11. 省エネ・省CO2診断の受診促進	13	2.9
13. ガスコージェネレーションの導入検討	13	2.9
14. 燃料電池等の分散型エネルギー機器の導入検討	13	2.9
10. 新しく公共施設を作る際、省CO2モデル建築物の建築	11	2.5
6. 省エネ・省CO2機器・高効率給湯器への転換	7	1.6
12. ESCO事業の推進	7	1.6
15. ヒートポンプ技術の活用検討	5	1.1
無回答	787	
計	1,326	

2-13 Q10-2.見直す必要がある地球温暖化対策 1位を選んだ理由

見直す必要がある地球温暖化対策の1位として選んだ回答について、選択した理由について聞いたところ、以下の回答があった。

公用自転車の活用推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泉大津市には似合わない。 ・ どこに置いていますか。 ・ 利用がない。 ・ もっとやり方があると思う。
パーク&ライド	<ul style="list-style-type: none"> ・ 面積の小さな町では実施効果が少ない。 ・ 効果が見込めない。 ・ 実現性が乏しい。 ・ そもそも意識が低くなければパークの必要はない。 ・ 内容がわからない。 ・ 温暖化対策として効果が疑わしい。 ・ 汚染リスクがある以上車を使うので。 ・ よくわからない。 ・ 内容をわかりやすくしてほしい。 ・ 駅前の駐車場というのがあまり思いつかない。

	<ul style="list-style-type: none"> 市営駐車場とアルサの駐車場はパーク＆ライドのために利用されているのかよくわからない。
一般家庭ごみの減量	<ul style="list-style-type: none"> まだまだ減らせそうだから。 ゴミが減っている気がしない。 プラゴミが設定されて以降減っていると思う。 ゴミの出し方が人によって違うと思うので、統一できたらいい。 ゴミは減らない。 ゴミ量を少なくする工夫を各家庭が努力すること、分別の徹底。 家庭ごみの減量が難しいと思うので。 変化を感じない。 過剰包装。 具体的にどうしたらゴミの量が減らせるか伝えるべき。 一般ゴミ処理機を購入する気持ちにならない。 CO2 の削減。 一般ごみの減量の方法を考えるべき（生ごみ）。
緑化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 緑化を進めてもらえれば空気もよくなる。 緑化はすべきと考えるが、維持管理にも責任を！ 空地がない。 管理ができていない。 空き家対策と並行して効果的な対策を望む。 落葉。 公園の整備活動の推進。 公園が少ない、道路緑化。 10年20年・・・後を見据えて個人でも緑化推進の意識を持つことが大事。 公的資金に頼らないようにする。 緑化はやり方によると思うがもっと増やしていけるのではと考えるから。 緑が少なくヒートアイランド現象が全国的な問題。
公共施設や防犯灯・道路灯などのLED化	<ul style="list-style-type: none"> コストの問題。 LED代もいいが、私の家の通りにもう少し街頭を付けてほしい。 すぐにでも取り組める。 エコも大切だが、住宅街の暗さは子供がいるので改善してほしい。 もっとLEDを進めて欲しい。 もっと明るく安全な道にして欲しい。
打ち水運動の推進、ドライミストや日差しよけ利用の普及	<ul style="list-style-type: none"> 打ち水運動は夏場などなら大量の水を使う。 通学路など日差しよけが少ない。 一時的な目標にすぎない。 水のむだ使い。 コストも人出も必要で効果が限定的。 あまり活動が見られない。 水道代が高いのでむしろ節水している。 決めなくてよい。
ゴーヤやアサガオ等によるグリーンカーテンの普及促進	<ul style="list-style-type: none"> あまり効果的だと感じたことが無い。 圧倒的に行っている範囲が狭い。 学校でも小規模。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行うなら大々的にするべき。 ・ 誰が世話をするのか。 ・ 蚊の発生。 ・ あまり見かけない。 ・ 住民まかせの対策は効果が少ないと思う。 ・ 果たして大きな効果が期待できるかと思った。 ・ それより家の断熱化を進めては。 ・ 労力のムダ。
新しく公共施設を作る際、省CO2モデル建築物の建築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今の所新しく公共施設を建築しなくてよいと思う。 ・ 省CO2モデルの建築に多額の費用がかかるのならその分違う分野に費用を使うべき。 ・ どれくらいの認知があるのかわからない。
省エネ・省CO2診断の受診促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診断をした所でわかっているけど個人ではお金もかかるしどうしようもない。 ・ 効果が弱い。 ・ 診断の受診促進をしてからの次のステップへ。 ・ 診断後にどうするのか不明。
ガスコージェネレーションの導入検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ オール電化の人だとガスを使わないから。 ・ 安全保持。 ・ 内容がわからない。 ・ 天然ガスを輸入しているため。 ・ ガスを燃焼させて冷暖房を行うことに問題、夏期電気、ヒータを抑える。 ・ ガスコージェネレーションの意味がわかりません。
燃料電池等の分散型エネルギー機器の導入検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導入はまだ早いのでは？ ・ 初期費用が掛かり過ぎて元が取れない。 ・ 燃料電池等の技術や価格はまだまだで効果が考えにくい。
ヒートポンプ技術の活用検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的に何をするのか。
エコドライブの普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・ もっとわかりやすく市民に教えて欲しい。 ・ 誰を対象にするのか。 ・ 興味ない人は自分勝手に運転する。 ・ ある程度普及、啓発はされてきたのではないかと思う。
公共施設における太陽光発電システムの設置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光だけではまだまだ費用対効果がでないから。 ・ システムを良いやつに変えると良いと思った。 ・ 売電10年契約になっているが更新可にして欲しい。 ・ 太陽光発電が温暖化対策になる科学的根拠が不明。 ・ 太陽光発電はあくまで補助、火力・原子力で電力の安定供給をするべき。 ・ 電気代の節約は太陽光発電にし、電気が行き渡り働きやすい職場へ。 ・ 安定供給が困難。 ・ 省エネにつながるのではないかと思う。
太陽光発電システム普及促進のための低金利ローン制度の創設	<ul style="list-style-type: none"> ・ システムが高すぎる。 ・ 補助があってもそこにお金をかける余裕がない。 ・ 太陽光発電は富裕層しか結局導入できないと思うので改善にならないと思う。 ・ 電気代があがるから。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光の補助金は？ ・ 例をあげてわかりやすくしてほしい。 ・ 太陽光発電は本当に環境に良い対策であるかどうか疑問である。 ・ 取組の継続性に疑問。 ・ ローンを組んでまでやる内容ではない。 ・ 太陽光発電は設置にかなりの金額がかかり、導入の利益はないと聞いた。 ・ 太陽光発電システムのためにローンを組むことが本当に市民のために役立っているのか不明であるから。 ・ 付けられない、家とか人との不平等、促進にお金をとられているだけ、優遇されすぎと思う。 ・ 10年後の電気買取価格が安価すぎる。 ・ ソーラーパネルの低寿命。
太陽光発電システム設置補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光電池だけでなく、全て対象にする。 ・ 太陽光パネルの設置住宅が少ないと思う。 ・ 一般家庭で太陽光発電導入推進のため。 ・ 太陽光パネルの製造、廃棄で環境負荷が大きいのではないかと。 ・ 太陽光しているのだから。 ・ 太陽光発電の環境への負荷が十分検討されているか不明であるため。 ・ もう少し金額を上げてもらえると助かる。 ・ 補助金よりローンを推進したほうがよい。 ・ 一戸建て住宅を対象にした補助制度だけでなく、マンションや企業等も対象にすべき。 ・ 補助金制度より市内公共設備に投資を集中。 ・ 既に設置されている住戸に対しても補助金を出す事を考えて欲しい。
公用車へのエコカーの導入と利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狭い土地の本市に車は必要か？ ・ 狭い泉大津は自転車移動を活用する。 ・ あまり身近に感じないから。 ・ 影響が小さい。 ・ 公用車にお金をかけなくてもよい。 ・ まだ費用も高く時期尚早と感ずるため。 ・ 公用車数台をエコカーとしたところで効果が薄い。 ・ PR 効果も貢献度も小さい。
泉大津市役所におけるエコオフィスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な空調等のエアコンの費用は使って下さい。 ・ 市役所に限定ではなく市公共施設に拡大すべき。 ・ ゴミの分別ができていない。 ・ 役所だけがすべきことではないと思うから。
エコハウス奨励金の創設、エコカー（電気・天然ガス自動車等）購入補助	<ul style="list-style-type: none"> ・ リフォーム補助金制度、リフォームする際に断熱効果のあるガラス、壁を設置採用させる。 ・ 街中に車があるが大きな変化が見られない。 ・ 補助金については公平さに疑問を感じるため。 ・ 車が変わればすぐ変わると思った。 ・ 国の方針次第だが進めるには補助金で関連産業を育てなければならないと思う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一部の人にしか恩恵が受けられないから。設置したらお得だと思えるほど補助金を出して欲しい。
エコ診断の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性がわからない。 ・ 行う人は元々環境問題に関心がある人だろうから。 ・ 意味わからない。 ・ 診断後の検討の推進が必要だと思う。 ・ 何のエコ診断をするかわからない。
地場産業（毛布・ニット）を活用したウォームビズの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毛布は衰退産業
友好都市等との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象市民が少ない。 ・ 成果が期待できない。 ・ 対策内容が不明瞭。 ・ 泉大津市の独自の政策が必要。 ・ 友好都市の議論不要。 ・ 温暖化対策につながっているのか不透明。 ・ 交流とどのように関係しているのかわからない。 ・ 温暖化対策としては少し弱いと思う。 ・ SNS の発達により個人で取り組める。 ・ 効果が見えない為。
環境学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来へ向け教育が大事。 ・ 学校でより体系的に行う必要がある。 ・ 理解しきれていないようだと思うから。 ・ 市民の知識がないから。 ・ もっと広く多くの方にどれだけ危機なのか知ってもらわないと前に進まない。 ・ 私も含め環境のことを知らない人が多いと思う。 ・ 特に子供達に教えてあげてほしい。 ・ わかりやすく伝えて欲しい。 ・ 子どもの頃からの意識づけが大事と思うのでもっと行ってほしい。 ・ 学習は大切。

2-14 Q10-3.泉大津市の行ってきた地球温暖化対策のうち、興味のある対策

泉大津市の行ってきた地球温暖化対策のうち、興味のある対策を1位～3位まで3つ聞いた。

1位に選ばれた回答は、無回答を除くと、「緑化の推進」が6.1%（27件）と最も多く、次いで「エコハウス奨励金の創設、エコカー購入補助」が5.7%（25件）、「環境学習」が5.0%（22件）となっている。

また、上位3位までに選ばれた回答で見ると、無回答を除くと、「エコハウス奨励金の創設、エコカー購入補助」が15.2%（67件）と最も多く、次いで「緑化の推進」が12.0%（53件）、「環境学習」が10.4%（46件）となっている。

図表 2-14 興味のある対策【1位】（n=442）

	件数	割合(%)
4. 緑化の推進	27	6.1
22. エコハウス奨励金の創設、エコカー購入補助	25	5.7
26. 環境学習	22	5.0
24. 地場産業（毛布・ニット）を活用したウームビズの推進	14	3.2
3. 一般家庭ごみの減量	12	2.7
8. ゴーヤやアサガオ等によるグリーンカーテンの普及促進	12	2.7
10. 新しく公共施設を作る際、省CO2モデル建築物の建築	12	2.7
7. 打ち水運動の推進、ドライミストや日差しよけ利用の普及	11	2.5
14. 燃料電池等の分散型エネルギー機器の導入検討	9	2.0
23. エコ診断の推進	9	2.0
2. パーク&ライド	8	1.8
5. 公共施設や防犯灯・道路灯などのLED化	8	1.8
11. 省エネ・省CO2診断の受診促進	8	1.8
19. 太陽光発電システム設置補助金	8	1.8
1. 公用自転車の活用推進	7	1.6
16. エコドライブの普及・啓発	7	1.6
21. 泉大津市役所におけるエコオフィスの推進	7	1.6
13. ガスコージェネレーションの導入検討	6	1.4
6. 省エネ・省CO2機器・高効率給湯器への転換	5	1.1
15. ヒートポンプ技術の活用検討	5	1.1
17. 公共施設における太陽光発電システムの設置	5	1.1
18. 太陽光発電システム普及促進のための低金利ローン制度の創設	5	1.1
25. 友好都市等との交流	5	1.1
9. 環境家計簿の普及と啓発	4	0.9
12. E S C O事業の推進	2	0.5
20. 公用車へのエコカーの導入と利用促進	2	0.5
無回答	197	
計	442	

図表 2-15 興味のある対策【1～3 位】 (n=442)

	件数	割合(%)
22. エコハウス奨励金の創設、エコカー購入補助	67	15.2
4. 緑化の推進	53	12.0
26. 環境学習	46	10.4
24. 地場産業（毛布・ニット）を活用したウォームビズの推進	37	8.4
7. 打ち水運動の推進、ドライミストや日差しよけ利用の普及	35	7.9
8. ゴーヤやアサガオ等によるグリーンカーテンの普及促進	33	7.5
3. 一般家庭ごみの減量	28	6.3
19. 太陽光発電システム設置補助金	27	6.1
10. 新しく公共施設を作る際、省CO2モデル建築物の建築	26	5.9
14. 燃料電池等の分散型エネルギー機器の導入検討	24	5.4
5. 公共施設や防犯灯・道路灯などのLED化	21	4.8
15. ヒートポンプ技術の活用検討	21	4.8
23. エコ診断の推進	20	4.5
16. エコドライブの普及・啓発	19	4.3
1. 公用自転車の活用推進	18	4.1
2. パーク&ライド	18	4.1
11. 省エネ・省CO2診断の受診促進	17	3.8
6. 省エネ・省CO2機器・高効率給湯器への転換	16	3.6
9. 環境家計簿の普及と啓発	16	3.6
13. ガスコージェネレーションの導入検討	16	3.6
17. 公共施設における太陽光発電システムの設置	15	3.4
25. 友好都市等との交流	14	3.2
18. 太陽光発電システム普及促進のための低金利ローン制度の創設	12	2.7
21. 泉大津市役所におけるエコオフィスの推進	11	2.5
12. E S C O事業の推進	9	2.0
20. 公用車へのエコカーの導入と利用促進	8	1.8
無回答	699	
計	1,326	

2-15 Q10-3.興味のある地球温暖化対策 1 位を選んだ理由

興味のある地球温暖化対策の 1 位として選んだ回答について、選択した理由について聞いたところ、以下の回答があった。

公用自転車の活用推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 究極的で一番実行が簡単だから。 ・ 体に良い。 ・ どこでやっているか見たことが無い。 ・ CO2 削減につながる。 ・ 最寄駅から使えれば便利。
パーク&ライド	<ul style="list-style-type: none"> ・ パーク&ライド（自転車の乗り継ぎのことですよね？）、市内での車の利用軽減。 ・ 楽しそうだから。 ・ 日常生活ですぐ活用しそうだから。 ・ 都市部へ流れる車の台数を減らすことにより渋滞や事故を減らし、温暖化対策にもつながるため。 ・ 年々、子ども達の遊び場所が少なくなり、屋外ではなく屋内に居る時間が長い。 ・ 故に不必要な電気を消費してしまう。

一般家庭ごみの減量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境家計簿とは？ ・ 具体的に何をどうするのかもっと PR すべき。 ・ 身近なことから着手し長く取り組むことを意識づける。 ・ 濃く個人の認識が必要。 ・ もっと減らせるようにしたい。 ・ ごみ減量したい。
緑化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑が少ないので多くした方が良い。 ・ 空地がない。 ・ 公園ができるのは楽しみ。 ・ 市内の緑化地帯の拡大と個人の意識付けが必要。 ・ 木々が少ない。 ・ 緑化はやってみたい。 ・ 公共施設の緑化。 ・ お金をかけずに対策していいは？ ・ 自然、公園、緑を増やしてほしい。 ・ 魅力ある町づくりにもなると考える。 ・ 市の環境改善と温暖化対策。 ・ 緑が多いほうが良い。
公共施設や防犯灯・道路灯などのLED化	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストが下がれば需要が高くなると思うため。 ・ 電力の消費ができる。 ・ 治安対策に直結。 ・ 一番効果がありそう。
省エネ・省CO2 機器・高効率給湯器への転換	<ul style="list-style-type: none"> ・ LED 化が温暖化対策に繋がると初めて知ったので。
打ち水運動の推進、ドライミストや日差しよけ利用の普及	<ul style="list-style-type: none"> ・ 打ち水等、子どもの頃よくしていたが今はしていない。 ・ 色々な所でしてほしい。 ・ 自分ができそうだから。 ・ 街が変わりそう。 ・ どれだけ効果があるのか統計を知りたい。
ゴーヤやアサガオ等によるグリーンカーテンの普及促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 涼しくなりそうだから。 ・ 取組んでみたい。 ・ 子どもが植物を育てることに興味を持っているので。 ・ やって見たらどうなるか気になる。 ・ できるならやってみたい。 ・ 緑が減少している昨今緑を増やす活動はとて素晴らしいと思う。 ・ 自分たちでできることを実践する。 ・ 緑のカーテン化で家内の温度が少し下がればエアコン使用量が減る？ ・ 市民にもできそうだから。 ・ 普及すれば効果があると思う。 ・ 今年ゴーヤでやってみたが少しうまくいかなかったので来年も頑張る。
環境家計簿の普及と啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての市民が取組むことができる。

新しく公共施設を作る際、省CO2モデル建築物の建築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民に周知するためのモデルは大切。 ・ 新しく作るのならぜひ10を推進して欲しい。 ・ 長い目で見て良い方法を選ぶ。 ・ 新しい公共施設が新たにできるのかと思ったので。 ・ 興味がある。 ・ 興味ある対策。
省エネ・省CO2診断の受診促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認識の向上。 ・ どういった内容なのか気になる。 ・ 知らなかったので知りたい。
ESCO事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ なにか良い方法があると思う。
ガスコージェネレーションの導入検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電力の負荷標準化できそうだから。 ・ 炭素を含むガス以外、例えばアンモニアや水素ガスを使用したコージェネの設置により地域住民の脱炭素を目指す。 ・ 発電だけでなく、給湯・暖房と有効活用できる。 ・ すごく興味がある。
燃料電池等の分散型エネルギー機器の導入検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料電池等（蓄電池）の設置を検討していないから。 ・ 災害時に活用できそう。 ・ 燃料電池は今後より促進されると思う。 ・ 水しか排出されず、騒音等もないと聞いたため。 ・ 興味があるから。 ・ 新エネルギーを知りたいから。 ・ 新しい技術を知らないから。
ヒートポンプ技術の活用検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術がどのように活用されているのかが気になったから。 ・ 環境によく低コストだから。 ・ 具体例が知りたい（具体的な活用例）。
エコドライブの普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球温暖化対策と経済活性化に同時に効果。 ・ 不要・普及のドライブを控える意識の啓発。 ・ まだ普及していないから。
公共施設における太陽光発電システムの設置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然エネルギー全般について行って欲しい。 ・ 電力需給の不安もある中、オール電化に対する不安がある。 ・ 災害時にも電源の確保ができる。
太陽光発電システム普及促進のための低金利ローン制度の創設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気が高くなってきているので。
太陽光発電システム設置補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民や企業がもっと活用できるようにしてほしい。 ・ 補助すれば増えると思う。 ・ 補助金があることで手を出しやすい。 ・ こういうことにお金を使って欲しい。 ・ 補助金などを活用するのであれば一定進むと思う為。
公用車へのエコカーの導入と利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人車及び公用車はむだ使いである。市内での活用なら自転車で充分である。
泉大津市役所におけるエコオフィスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ モデル。 ・ ゼロカーボンシティを目指すなら市役所をロールモデルにすべき。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の行政がどれだけ積極的に取り組むことができるのだ。 ・ 中身と効果がわからない。
エコハウス奨励金の創設、エコカー（電気・天然ガス自動車等）購入補助	<ul style="list-style-type: none"> ・ 購入補助はありがたいと思う。 ・ エコカーなどに興味はあるが、とっつきにくいのでこういったものがあると良いと思う。 ・ エコカーが普及していくのだろうが、現実問題なかなか金銭的に手が出ない。 ・ 身近だから。 ・ 車の購入を考えているから。 ・ 今後は電気や水素自動車へ変わっていくだろうから。 ・ 家計を助けてくれて効率的。 ・ 今後 V2H を考えている。 ・ エコカーには興味があるから。 ・ 補助金の額を増加。
エコ診断の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコ環境へのレベル確認。 ・ どんな診断なのか。 ・ エコの意識を普及させるため。 ・ エコ診断を受けると今からどこをエコに変えていくのがよいか分かる。 ・ 太陽光発電等への導入家庭には固定資産税及び府市民税の優遇制度を創設していただきたい（継続して）。 ・ 自分の取組が目に見えてエコになっている、地球のためになっているか知りたい。 ・ どういったものか受けてみたいと思ったから。
地場産業（毛布・ニット）を活用したウォームビズの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地場産業とエコ対応がリンクすれば、より注目を集めるだろう。 ・ 地場産業が行き詰っている感じがするので。 ・ 地場産業の発展にもなり市税が増やせる。 ・ 泉大津の良さをもっと利用すべき。 ・ 生ごみにしなくてもいい部分をきちんと食べるようにすればごみの量も減ると思う。 ・ 地場産業の発展につながる。 ・ どういうことかあまりわからない。 ・ 地場産業を生かすため。 ・ 地域の活性化。 ・ 地場産業が活発化すれば良いのではないか。
友好都市等との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ グローバルに目を向けると見方も変わると思うから。 ・ その交流が活発なものになってほしいため。 ・ 他都市、できれば環境先進都市との交流は参考になる。
環境学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼少期からの学習で知識や興味を持つ学習をしてほしい。 ・ 具体的な事が学べそう。 ・ 市民への教育は必要。 ・ 市民の知識がないから。 ・ 子供に学習させたい。 ・ どんな内容をどのように伝えているか気になる。 ・ 知識や補助金。 ・ 特に学校教育における環境学習を充実したい。

-
- ・ どのようなところで取組がされているのか興味があるため。
 - ・ 環境に対する知識の多くの人への促進。
 - ・ 知ることが取り組むことへの第一歩と思う。
 - ・ マインドセットが必要。
 - ・ 何事も学ぶが大事。
 - ・ 環境学習をもっと小さい頃から始め、子どもも大人も環境への配慮をしていくべき。
 - ・ 温暖化対策の具体的な例などを教えて欲しい。
 - ・ 個人が意識改革をしないと変わらない。
-

2-16 Q10-4.1~26 以外で取り組むべき地球温暖化対策

1~26 以外で取り組むべき地球温暖化対策について聞いたところ、以下の回答があった。

- オール電化にするのが一番であるが、電気を利用するためには安全な原子力発電の開発を国が行うこと。
- 市役所で取り組んでいるものも多いので、その検証を公表して各家庭に広げられるものを発表して欲しい
- 数々の対策ご苦労様です。しかし、市民はほとんど知らない事が多いと思われる。
- 緑化
- 大型蓄電池の設置
- 市議会議員に温暖化対策について思っていることを各自文章化し広報で知らせること
- 原子力発電（きれいごとだけでは難局は乗り切れない）
- 全てを今まで以上に取り組む、順位はない。
- 高齢者への自動車運転免許返納を促進する。
- 公設の車用給電施設の整備
- 市役所内の空調設備の見直し
- 市民に得になる事をすればみんな環境に傾く
- リサイクルポイントを付けるなどのサービス
- 原発検討だけであれば、本当のゼロカーボンになるのか不明
- リフォーム補助金制度、リフォームする際に断熱効果のあるガラス、壁を設置採用させる
- エコカーやエコ商品を購入しやすくする助成金などの取組
- エコポイント制度にしてポイントを付与
- エネルギーを使わない住宅づくり
- 蓄電池の普及と助成
- 労働時間 11~15 時を無しにする。5~11 時、15~21 時とかにする。
- エコ意識の高揚と啓発
- 答えられない。質問が難しい
- ガソリン車が日本経済を支えているので、電気自動車はダメ
- オイルショックの時のように深夜の TV 放送の中止、商業施設等閉店
- 各対策に対する進捗・効果・評価対策が認知できていないことが課題である。PDCA
- 4,7,22,24 特に 4 と 7 は自宅周辺の気温が下がり、我が家では夜寝る時エアコンを切る
- ウォームビズが温暖化の対策になるとは知らなかった
- 今はコロナがあるので難しいが学校でも自治体でも皆が取り組めるように話し合いができる場があれば良い
- 飲食店でも食べ残しを持ち帰るよう声掛けしてもらえれば持って帰りやすい
- クーラーをエコの物に、そのための助成金

- 自然の保護、維持、増やす取組と次の世代に残す（緑の公園、自然、教育、遊べる場）
- 風力発電を作る。映える感じで。地球環境基金を使って作る
- 指定ごみ袋をやめてほしい
- 個人の家で緑化に励んでいる人たちへの援助、例えば緑化で出たごみの無料化など
- 取組に前向きになるような仕掛け、ポイント制とか
- 各家庭の太陽光熱器の設置推進として補助金制度があれば（ガス等の使用料の削減）
- 公共施設の統廃合
- 個人を取組を進めるならエコポイント制度を作って、エコカーに乗っている、ゴミを減らしている、節電しているなどを可視化して泉大津市で使用できるポイントがたまるようにしてはどうか
- 蓄電池への補助金
- 難しい
- わからない
- 5番以外見たりしないので実感がない
- 家庭用蓄電池と電気自動車充電設備設置補助
- 職員を減らして公共施設の費用や使用電力を抑えること
- 建物の屋上緑化、壁面緑化の推進
- どのような対策が、効果が大きいのかよくわからないので、行政主導で可能な範囲で強制力のある効果が大きい対策を選択して実施してほしい。
- 打ち水を推進するため雨水の利用を進めるべき。水道水を使うのはもったいない。自然をもっと利用する意識を子供（幼稚園・小学校）の時から持たせることが大切。（ex エコバッグ持参も若い世代の方のほうが抵抗少なかった）
- スマホアプリでエコカがポイント化する取組み
- 自動車から自転車への乗り換えの推進及び道路整備
- ふるさと納税
- 企業に対する CO2 排出制限
- 港湾エリアでの風力発電（予算が大きい、企業とタイアップで）
- パーク＆ライドの意味がわからない
- 街灯の LED 化と液晶版の設置、エコカーの推進
- 紙アンケートの電子化
- 引き続き進めて下さい
- 車から公共交通への転換政策
- 自治会単位での勉強会、研修の開催、エコノミ一大使任命など積極的な啓発

2-17 Q11-1.泉大津市の地域環境基金活用事業のうち、今後取組みを推進すべき事業

泉大津市の地域環境基金活用事業のうち、今後取組みを推進すべき事業を1位～3位まで3つ聞いた。

1位に選ばれた回答は、無回答を除くと、「住宅用太陽光発電システム設置補助事業」、「食品ロス削減推進事業」が6.6%（29件）と最も多く、次いで「ごみ減量機器購入助成事業」が6.3%（28件）となっている。

また、上位3位までに選ばれた回答で見ると、無回答を除くと、「食品ロス削減推進事業」が18.1%（80件）と最も多く、次いで「LED照明整備事業」が15.4%（68件）、「住宅用太陽光発電システム設置補助事業」が15.2%（67件）となっている。

図表 2-16 今後取組みを推進すべき地域環境基金活用事業【1位】(n=442)

	件数	割合(%)
(ケ) 住宅用太陽光発電システム設置補助事業	29	6.6
(シ) 食品ロス削減推進事業	29	6.6
(イ) ごみ減量機器購入助成事業	28	6.3
(コ) LED照明整備事業	25	5.7
(キ) 高効率エネルギーシステム設置助成事業	24	5.4
(ア) 有価物集団回収助成事業	21	4.8
(ウ) 不法投棄防止啓発事業	20	4.5
(カ) 緑のカーテン推進事業	17	3.8
(ス) 新エネルギー導入促進事業	14	3.2
(ソ) 4R推進事業	12	2.7
(オ) 環境教育推進事業	11	2.5
(タ) 環境体験学習推進事業	10	2.3
(ク) 雨水タンク購入助成事業	9	2.0
(ト) SDGs推進事業	9	2.0
(チ) 小型家電リサイクル推進事業	7	1.6
(ツ) 仲よし学級運営事業	5	1.1
(セ) 自転車活用促進事業	4	0.9
(テ) 緑化推進記念樹等交付事業	4	0.9
(工) 環境教育図書等拡充事業	3	0.7
(サ) 剪定枝活用事業	3	0.7
(ナ) 公用車活用促進事業	1	0.2
無回答	157	
計	442	

図表 2-17 今後取組みを推進するべき地域環境基金活用事業【1～3 位】(n=442)

	件数	割合(%)
(シ) 食品ロス削減推進事業	80	18.1
(コ) LED照明整備事業	68	15.4
(ケ) 住宅用太陽光発電システム設置補助事業	67	15.2
(イ) ごみ減量機器購入助成事業	54	12.2
(キ) 高効率LED照明システム設置助成事業	50	11.3
(ウ) 不法投棄防止啓発事業	47	10.6
(カ) 緑のカーテン推進事業	41	9.3
(タ) 環境体験学習推進事業	38	8.6
(オ) 環境教育推進事業	36	8.1
(ア) 有価物集団回収助成事業	35	7.9
(ス) 新エネルギー導入促進事業	35	7.9
(ソ) 4R推進事業	35	7.9
(チ) 小型家電リサイクル推進事業	34	7.7
(ク) 雨水タンク購入助成事業	32	7.2
(ト) SDGs推進事業	32	7.2
(テ) 緑化推進記念樹等交付事業	21	4.8
(セ) 自転車活用促進事業	18	4.1
(ツ) 仲よし学級運営事業	16	3.6
(工) 環境教育図書等拡充事業	7	1.6
(ナ) 公用車活用促進事業	7	1.6
(サ) 剪定枝活用事業	6	1.4
無回答	567	
計	1,326	

2-18 Q11-1. 今後取組みを推進するべき地域環境基金活用事業 1位を選んだ理由

今後取組みを推進するべき地域環境基金活用事業の1位として選んだ回答について、選択した理由について聞いたところ、以下の回答があった。

有価物集団回収助成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コミュニティの活性化にも寄与する。 ・ 自治会の財政支援となっている。 ・ 自分自身も自治会などで利用していたので。 ・ 自治会への補助金は自治会活動に必要な財源である。 ・ 個人が参加しやすい。 ・ やはり実利があるものは取り組みやすいので長く続けやすい。 ・ ECコマースの発達で宅配が急増。 ・ 古紙回収の意識、リサイクルの意識が高まるから。
ごみ減量機器購入助成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの問題の軽減。 ・ 導入しやすくなる。 ・ ゴミを減らすことは大切であるから。 ・ 4人家族だが3世帯同居なので生ごみが多い。燃やしたりエネルギーを使わず処理できるとありがたい。 ・ 大々的に宣伝すべき。 ・ 家庭で取り組める環境対策だから。 ・ ゴミの減量と衛生面に役立つ。 ・ 生ごみから肥料にかえず取組でごみ量削減、農業肥料に繋がる ・ 家庭ごみを生かす。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状では助成金補助が毎年少なくて大した効果を見込めないが、一人当たりのゴミは減量するので推進すべき。 ・ ゴミが減るといような費用も減る。 ・ 現実的で即効性もあるため。 ・ ゴミの処理機の負担よりゴミの量を減らす。
不法投棄防止啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内での不法投棄が多いから。 ・ 西側の小松緑道付近がきたない。 ・ 不法投棄防止の啓発が必要。特に公園でのキャンプゴミの不法投棄が多い。 ・ 多いから。 ・ 空地に不法投棄されるのは困るので防犯カメラの設置が望ましい。 ・ 不法投棄された物を目にするため。 ・ 個人でできるから。 ・ 不法投棄が多いので。 ・ 許されないことだから。
環境教育図書等拡充事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育が一番の近道と思う。 ・ 公共施設で学べて低コスト。 ・ 学習は大切。
環境教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小さい子供たちにも環境を教育したら良いと思った。 ・ 谷口たかひささんの活動がとても興味深い不快。 ・ 親子のつながり。 ・ 環境問題の現状を知る必要あり。 ・ 親子の環境教育は子供達とも学べる。 ・ 環境教育は大切だと思う。 ・ 具体的な環境学習が可能と考える。
緑のカーテン推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑化によって高温を抑えられる効果があるから。 ・ 安くできそうだから。 ・ 眼に見える取組は大事。 ・ 虫が寄ってくる。 ・ 街中に緑カーテンがあれば良い広報啓発活動になる。 ・ 緑化の推進。 ・ 住んでる町の環境が良くなる。 ・ 興味がある。 ・ 駅を改装してきれいな状態をうれしく市民も汚そうと思わないように緑化を進めると市民も自然とそうなる。 ・ 費用的に実現しやすい。

高効率エネルギーシステム設置 助成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備を新しくすることで効果があると思う。 ・ CO2 削減効果が大きいと思われる。 ・ 電力効率化。 ・ 化石エネルギーを最小限の利用とするため。 ・ 地場産業育成のため。 ・ 助成などあれば取組やすい。 ・ ユーザーが増える。 ・ エネルギー活用の見直し。 ・ なにか得か市民へアピール。
雨水タンク購入助成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業や公共施設につけるだけで違うと思う。 ・ 災害時にも役立つと思う。 ・ 樹木のために良い。 ・ 災害時でも大量に水があれば良いと思う。 ・ 水道料金の節約。 ・ 緑化のために水を使っても下水道代がかかる。
住宅用太陽光発電システム 設置補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普及促進のため。 ・ 高額な設備なので補助があると嬉しい。 ・ 住宅の屋根をよく見るがパネル設置が少ない。 ・ 補助金引き上げてもっと導入がすすむようにするべき。 ・ 補助すれば増えると思う。 ・ 国を挙げて化石燃料からの脱却促進を図るべき。 ・ 家庭レベルであれば太陽光は十分に効果がある。 ・ クリーンエネルギーをもっと推進するほうが良い。 ・ 既に導入しているから。 ・ 多くの人に取り組むきっかけとなる気がする。 ・ 補助金の交付があればもっと太陽光発電も普及するはず。 ・ 補助金の拡大。
LED 照明整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費電力をもっとおさえるべきだと思うので。 ・ まだなら推進を。 ・ 学校に導入することにより子ども達にも認識してもらえるから。 ・ 実行しやすく節約になる。 ・ 地方公共団体が見本をみせるべき。 ・ 学校にはすすんで行っていくべき。 ・ 街灯新設増。 ・ 電気代の節約に。 ・ 目にも優しく暑くならずエコなため。 ・ 学校を整えて欲しい。 ・ 小中学校は照明が多いうえ、使用する時間も長いいため、LED 化にする省エネ効果が大きい。 ・ 照明機器が明るくなると目にも良いと思われる。 ・ 若いうちから省エネ教育のため。 ・ 小中だけでなく施設に全て。

剪定枝活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミを出さず活用しているから。 ・ ゴミの減量、資源の再利用。
食品ロス削減推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ この国の有様がわかっているならば、食品ロスなど論外。 ・ ごみ減量に取り組む動機になる。 ・ 食品ロスがとて多と思うから。 ・ 食品ロスを減らすことでごみを出さないよう色々プラスになると思う。 ・ 飲食店での食品ロスをなくして有効利用してもらいたい。 ・ 優れた取組を進める事業者を表彰し、学習拠点とする。 ・ より身近な問題だと思う。 ・ 大切な食品が無駄になるのがつらい。 ・ あまりにも廃棄が多すぎて温暖化によって腐る。日持ちしないため食品ロスの講座は良いと思う。 ・ 地球的規模の問題事項。 ・ 食料不足対策。 ・ 今は廃棄する程たくさん食品があるが、資源は限りあるものなので考え方を買えた方がよいと思う。 ・ 食べ物を残しすぎ。 ・ 世界一食品ロスが多い事を知らない人が多数。
新エネルギー導入促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報は必要だが方法論を進めるべき。 ・ 社会全体で取り組んでいく必要があると考えるため。 ・ 省エネのために積極的に新エネルギー導入は必須であると思われる。 ・ 進めていくべきと思うので。 ・ 代替エネルギーが必要。 ・ 新エネルギーの将来的活用の研究、先駆けて実施。 ・ これから必要だと思う。
自転車活用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども 2 人を乗せる自転車だけでなく、子ども 1 人分でも補助して欲しい。 ・ むだ使いの禁止。
4R 推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今あるものを生かせるならすべきだから。 ・ 収集、焼却処理に伴う CO2 削減に寄与するため。 ・ 制服交換会など、もっと活発に。 ・ いいものを長く使うことが環境負荷を減らす。 ・ 再利用は良いと思う。
環境体験学習推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験学習による意識の植え付け。 ・ 自成大への取組強化。 ・ 子どもが参加すれば親も一緒に考える。 ・ 子供の成長のため必要と思う。 ・ 次世代へ引き継ぐため。 ・ これから未来の問題なので若い人たちにもっと考えてもらいたい。 ・ ゲームをする子供が増加しているため親子の交流が失われてきている。 ・ 子どもたちに機会を与える事業だと思う。 ・ 子供世代に体験を通して環境を整える機会をどんどん増やしていくべき。
小型家電リサイクル推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 費用負担が減れば不法投棄なども減ると思う。 ・ 冷蔵庫が無い人がある。リースなどの斡旋を。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ リサイクル料を払っているのに正しく処理されているのか疑問がある。 ・ 不法投棄の削減。 ・ 個人に還元できるものなら皆が参加しやすい。
仲よし学級運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しみながら勉強できる。 ・ やれることからやる子、大人の育成・形成が必要だから。
緑化推進記念樹等交付事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ もっと緑を増やしてほしいから。 ・ 記念樹は大津川河川敷へ植樹されることを提案。 ・ 緑が少ない。
SDGs 推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ SDG s は全てに適する。 ・ 地球温暖化の基本となる対策が理解できる。 ・ 国民に一定周知されてきたので、一層の周知を本市が行うことが大切。 ・ SDG s は全てに適用する意味がわからない。高齢者が多い（65 歳以上）。 ・ SDGs はまだまだ知らない人もいる。もっと浸透していく活動が必要。 ・ SDGs の各テーマ毎の進捗・評価・対策への細分化。PDCA。 ・ 知識がないので教えて欲しい。

2-19 Q11-2.泉大津市の地域環境基金活用事業のうち、見直す必要がある事業

泉大津市の地域環境基金活用事業のうち、見直す必要がある事業を1位～3位まで3つ聞いた。

1位に選ばれた回答は、無回答を除くと、「公用車活用促進事業」が4.8%（21件）と最も多く、次いで「緑化推進記念樹等交付事業」が4.1%（18件）、「自転車活用促進事業」が3.8%（17件）となっている。

また、上位3位までに選ばれた回答で見ると、無回答を除くと、「公用車活用促進事業」が14.3%（63件）と最も多く、次いで「緑化推進記念樹等交付事業」が12.2%（54件）、「自転車活用促進事業」が11.5%（51件）となっている。

図表 2-18 見直す必要がある地域環境基金活用事業【1位】（n=442）

	件数	割合(%)
(ナ) 公用車活用促進事業	21	4.8
(テ) 緑化推進記念樹等交付事業	18	4.1
(セ) 自転車活用促進事業	17	3.8
(ケ) 住宅用太陽光発電システム設置補助事業	15	3.4
(ア) 有価物集団回収助成事業	13	2.9
(カ) 緑のカーテン推進事業	12	2.7
(シ) 食品ロス削減推進事業	12	2.7
(イ) ごみ減量機器購入助成事業	10	2.3
(ウ) 不法投棄防止啓発事業	10	2.3
(ク) 雨水タンク購入助成事業	8	1.8
(工) 環境教育図書等拡充事業	7	1.6
(チ) 小型家電リサイクル推進事業	6	1.4
(キ) 高効率LED照明システム設置助成事業	4	0.9
(ス) 新エネルギー導入促進事業	4	0.9
(ト) SDGs推進事業	4	0.9
(オ) 環境教育推進事業	3	0.7
(コ) LED照明整備事業	3	0.7
(サ) 剪定枝活用事業	3	0.7
(ソ) 4R推進事業	3	0.7
(ツ) 仲よし学級運営事業	3	0.7
(タ) 環境体験学習推進事業	2	0.5
無回答	264	
計	442	

図表 2-19 見直す必要がある地域環境基金活用事業【1～3位】(n=442)

	件数	割合(%)
(ナ) 公用車活用促進事業	63	14.3
(テ) 緑化推進記念樹等交付事業	54	12.2
(セ) 自転車活用促進事業	51	11.5
(ケ) 住宅用太陽光発電システム設置補助事業	45	10.2
(ア) 有価物集団回収助成事業	39	8.8
(カ) 緑のカーテン推進事業	36	8.1
(シ) 食品ロス削減推進事業	36	8.1
(イ) ごみ減量機器購入助成事業	30	6.8
(ウ) 不法投棄防止啓発事業	30	6.8
(ク) 雨水タンク購入助成事業	24	5.4
(工) 環境教育図書等拡充事業	21	4.8
(チ) 小型家電リサイクル推進事業	18	4.1
(キ) 高効率LED照明システム設置助成事業	12	2.7
(ス) 新エネルギー導入促進事業	12	2.7
(ト) SDGs推進事業	12	2.7
(オ) 環境教育推進事業	9	2.0
(コ) LED照明整備事業	9	2.0
(サ) 剪定枝活用事業	9	2.0
(ソ) 4R推進事業	9	2.0
(ツ) 仲よし学級運営事業	9	2.0
(タ) 環境体験学習推進事業	6	1.4
無回答	792	
計	1,326	

2-20 Q11-2. 見直す必要がある地域環境基金活用事業 1位を選んだ理由

見直す必要がある地域環境基金活用事業の1位として選んだ回答について、選択した理由について聞いたところ、以下の回答があった。

有価物集団回収助成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者への助成金は見直すべき。 ・ 効果が弱い。 ・ 古紙を泥棒していく人がいるため泥棒対策をきちんと行う必要がある。 ・ 活用しやすくすることが大事。 ・ 有効利用は大切。
ごみ減量機器購入助成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ コスト問題の軽減。 ・ 家庭で結果的にエネルギー使用。 ・ 1位～3位で限られた人しか実施できないことに補助金を使用している。 ・ 経年の維持管理に期待できない者の助成事業。 ・ 有効に使われているかどうか疑問。 ・ 効果があると思えないから。どれだけ減量できたかわからないから。
不法投棄防止啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西側の小松緑道付近がきたない。 ・ 「う」だけではないが、CO2削減に直接つながらないような事業が多いと思う。 ・ パトロールを見たことが無い。 ・ 環境悪化防止のため。 ・ 地球温暖化との関係が不明。

環境教育図書等拡充事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 興味を持たない層への請求がない。 ・ 図書を購入しても活用されないと意味がない。 ・ 学校で学ばばよい。
環境教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供の事に金をかけ過ぎ。昔はそんなことはなく、今の現実がおかしい。例えば無料化（子供の）。
緑のカーテン推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ どのくらいの効果があるか疑問。 ・ 管理が大変そう。 ・ 今まだ目にしないから。 ・ 太陽光発電のメリットがない。 ・ 泉大津は緑が減っていると思う。 ・ 大規模緑化。 ・ 住民まかせの対策は効果が少ないと思う。 ・ まだまだ取り組んでいる所が少ない。 ・ 労力のムダ。 ・ 緑のカーテン並びに植木の合同購入により安く配布する。
高効率エネルギーシステム設置助成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助は公平さに疑問を感じるため。 ・ 初めて知った。 ・ 1～3位全てにおいて設置できる人にしか恩恵がない。
雨水タンク購入助成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪は水不足にならないので必要なし。 ・ あまり雨水タンクを買わないと思ったから。 ・ 雨水タンクの設置の衛生上問題があるのでは？ ・ 雨水タンクのメリットがあまり見えない。 ・ 水の確保必要と水害に遭わないように流れを良くする。 ・ 個人的に雨水タンク利用は考えない。 ・ 本市の生活環境の中で利用・活用性があまり見当たらない。 ・ 置ける人とそうでない人が出る環境の問題あり。
住宅用太陽光発電システム設置補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置に対する補助だけでなく劣化した設備の廃却までのシステム要。 ・ 新規のみでなく、継続利用の家庭にも配慮が必要。 ・ 蓄電池が高額で買えない。 ・ 太陽光発電システム設置費用だけではない。屋根の補強も必要な家庭もたくさんある。 ・ 電気代が上昇するから。 ・ 数率向上。 ・ 売電価格を高いままにしてほしい。 ・ 本当に必要？ ・ 住宅一戸一戸の限界を感じる。できることなら大規模施設に助成。
LED照明整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全て変える必要あり。 ・ 各家庭に4Rになるものがたくさんある。
剪定枝活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効率が悪い。 ・ 効率が低いかも。 ・ 費用対効果に疑問。
食品ロス削減推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講座よりロスを減らす方法を考えるべき。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校の娘が食品ロスが気になるのに給食の時間が少なくて食べる時間がないと言っている。 ・ 各人がやっているから。 ・ 食品に対する意識が低いと思うから。
新エネルギー導入促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 興味体験あり。 ・ 脱炭素はどうしても出てしまう。 ・ 必要ないと思う。
自転車活用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電動アシスト自転車の危険性があるので。 ・ よくわからないから。 ・ あまり効果はないかと… ・ 市内は坂道が少ないので普通の自転車で充分。 ・ 電気代が上昇するからアシスト自転車は楽だがエコではない。 ・ 泉大津市は平坦でそれほど広くないのに電動アシスト自転車が本当にいるのか疑問。 ・ 1位、2位ともに他の課題点（環境負荷、交通マナーなど）が気になる為。 ・ 効果が疑わしい。 ・ 車に乗るよりエコかと思うが、スピードが出やすいのでマナーを守らないと事故の元。助成金を出すほどのものか。 ・ 活用されるのか不明と感じたため。 ・ 効果が小さい。 ・ 公用自転車は人力で OK。
4R 推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4R をいつどこで行っているのかが全くわからない。もっと広報を。
環境体験学習推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 間違った知識を子供に教えるな。 ・ コロナ渦による不安がある。
小型家電リサイクル推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全く市民に認知されていないに等しく、助成金は無意味。 ・ 検証結果が必要。 ・ コロナで家の片づけをする人が多いので。 ・ 樹木よりその分を祝金として渡す方が市民は喜ぶと思う。
仲よし学級運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何より学級だけでなく学校全体で行ってほしい。
緑化推進記念樹等交付事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ サステナブルな植生を実現できるとは思えない。立ち枯山等が多い。 ・ 別に誕生日を決めなくてもいい。 ・ 樹木を交付されても困る人もいるはず。 ・ 興味がわからない。育てる土地もない。 ・ 樹木を頂いても植樹する土地や場所がなければ困る。もっと実用的なものでもいいかと。 ・ 緑化推進になっていると感じない。 ・ 樹木をもらっても置く場所がない。 ・ 他のことで誕生を祝うほうがいいから。枯れた時嫌な気持ちになる。 ・ 樹木は必要な所に配布すべき。 ・ 必要がない。 ・ 植える場所がない、緑化は計画的にする方が良い。
SDGs 推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講座をしても興味のある人しか受けない。 ・ 内容に目新しさがないように感じるが担当者の研修が必要かと思う。

公用車活用促進事業

- ・ 自転車の利用促進。
 - ・ 公用車の台数を減らす。
 - ・ 自転車と電車で動けば良い。小さい市なので車はいらない。
 - ・ 現在使用中の自動車を大事に使う方が良い。
 - ・ ハイブリッドなど連動の仕方でたいして裏切らないので EV にしないとだめです。
 - ・ 税金に跳ね返りそう。
 - ・ 市の目指す方向を目に見える形にすることが市民の意識にも影響してくる。
 - ・ 促進するというより公用物は建物も含めて必須にしてはどうか。
 - ・ ハイブリット車は短距離で効率がない。
 - ・ 効果小。
 - ・ どのような効果があるのか分かりやすく説明が必要。
 - ・ 公用車は軽バンでよい。
 - ・ ハイブリットではなく電動自動車でしょう。
 - ・ 助成金交付が市民のために役立てられているか不明であるから。
 - ・ HV ではゼロカーボン達成されない。
-

2-21 Q11-3.泉大津市の地域環境基金活用事業のうち、興味のある事業

泉大津市の地域環境基金活用事業のうち、興味のある事業を1位～3位まで3つ聞いた。

1位に選ばれた回答は、無回答を除くと、「環境体験学習推進事業」が5.2%（23件）と最も多く、次いで「食品ロス削減推進事業」が5.0%（22件）、「緑のカーテン推進事業」が4.3%（19件）となっている。

また、上位3位までに選ばれた回答で見ると、無回答を除くと、「環境体験学習推進事業」が15.6%（69件）と最も多く、次いで「食品ロス削減推進事業」が14.9%（66件）、「緑のカーテン推進事業」が12.9%（57件）となっている。

図表 2-20 興味のある地域環境基金活用事業【1位】(n=442)

	件数	割合(%)
(タ) 環境体験学習推進事業	23	5.2
(シ) 食品ロス削減推進事業	22	5.0
(カ) 緑のカーテン推進事業	19	4.3
(ソ) 4R推進事業	16	3.6
(ト) SDGs推進事業	16	3.6
(コ) LED照明整備事業	14	3.2
(イ) ごみ減量機器購入助成事業	12	2.7
(ク) 雨水タンク購入助成事業	12	2.7
(ス) 新エネルギー導入促進事業	11	2.5
(ウ) 不法投棄防止啓発事業	10	2.3
(チ) 小型家電リサイクル推進事業	10	2.3
(オ) 環境教育推進事業	8	1.8
(キ) 高効率エネルギーシステム設置助成事業	8	1.8
(ケ) 住宅用太陽光発電システム設置補助事業	8	1.8
(セ) 自転車活用促進事業	8	1.8
(サ) 剪定枝活用事業	7	1.6
(テ) 緑化推進記念樹等交付事業	7	1.6
(ツ) 仲よし学級運営事業	5	1.1
(ナ) 公用車活用促進事業	5	1.1
(ア) 有価物集団回収助成事業	4	0.9
(イ) 環境教育図書等拡充事業	2	0.5
無回答	215	
計	442	

図表 2-21 興味のある地域環境基金活用事業【1～3 位】 (n=442)

	件数	割合(%)
(タ) 環境体験学習推進事業	69	15.6
(シ) 食品ロス削減推進事業	66	14.9
(カ) 緑のカーテン推進事業	57	12.9
(ソ) 4R推進事業	48	10.9
(ト) SDGs推進事業	48	10.9
(コ) LED照明整備事業	42	9.5
(イ) ごみ減量機器購入助成事業	36	8.1
(ク) 雨水タンク購入助成事業	36	8.1
(ス) 新エネルギー導入促進事業	33	7.5
(ウ) 不法投棄防止啓発事業	30	6.8
(チ) 小型家電リサイクル推進事業	30	6.8
(オ) 環境教育推進事業	24	5.4
(キ) 高効率エネルギーシステム設置助成事業	24	5.4
(ケ) 住宅用太陽光発電システム設置補助事業	24	5.4
(セ) 自転車活用促進事業	24	5.4
(サ) 剪定枝活用事業	21	4.8
(テ) 緑化推進記念樹等交付事業	21	4.8
(ツ) 仲よし学級運営事業	15	3.4
(ナ) 公用車活用促進事業	15	3.4
(ア) 有価物集団回収助成事業	12	2.7
(イ) 環境教育図書等拡充事業	6	1.4
無回答	645	
計	1,326	

2-22 Q11-3. 興味のある地域環境基金活用事業 1 位を選んだ理由

興味のある地域環境基金活用事業の 1 位として選んだ回答について、選択した理由について聞いたところ、以下の回答があった。

有価物集団回収助成事業	<ul style="list-style-type: none"> 古紙回収にて助成金を使うのに賛成だから。 継続して参加できる。
ごみ減量機器購入助成事業	<ul style="list-style-type: none"> 興味があるので。 夏は生ごみが腐るのでゴミを出す回数が増える。 ゴミの減量、肥料化、家畜のえさに使えて便利。
不法投棄防止啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> 大津川でも散見されるように個人の意識を持たせる必要有。 街がきれいになってほしいから。 公園での不法投棄を散見。 街を美しくするため。 不法投棄の回収を市が行うことは市民の税金が無駄に使われるため、それを事前に防止する施策として有効であるから。
環境教育図書等拡充事業	<ul style="list-style-type: none"> 教育が大事だから。
環境教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 教養を高められる。 子供に教育し、子供達の活動で親達の教育をする。
緑のカーテン推進事業	<ul style="list-style-type: none"> どのようなところで取組がされているのか興味があるため。 意識改革。 次世代の子供達に危機感を持ってもらいたい。
緑のカーテン推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 地道で低予算で効果が大きい。

	<ul style="list-style-type: none"> 子どもと一緒に取組みたいので家庭でするものも推進して欲しい。 地球温暖化対策だと思う。 緑の多い市を目指したい。 自分でもできることかと思う。 取り組みやすい。 緑のカーテンがいっぱいある都市を見たい。 温暖化対策に役立つかもしれない。
高効率エネルギーシステム設置助成事業	<ul style="list-style-type: none"> どんなものが知りたい。 導入・更新の検討材料になるため。 地元は今、世代交代で、新築物件が増えているので推進するチャンスかと思う。 高効率エネルギーがエネルギー使用量の削減という点で効果的と思える。 価値あり。
雨水タンク購入助成事業	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策や緑化などもっと多く雨水タンクを使うべき。 省エネをもっと推進すべき。 災害に活用できそう。 助成すれば増えると思う。 自然のものを利用するのは効果的で良い。 始めたいなと思うから。
住宅用太陽光発電システム設置補助事業	<ul style="list-style-type: none"> 設置済の為、今後蓄電池の補助がないか気になる。 助成金が増えて買いやすくなればもっとすすむと思う。 利用したいと思う。
LED 照明整備事業	<ul style="list-style-type: none"> LED に切り替える事でエコになる。 子供の目にいいかも。 まだなっていない所が多くあるから。 子供達に押し付けて申し訳ないが、子どもの頃から意識してもらえる事業、環境を整えるべきと思う。 小中学校の校舎はボロボロすぎる。 明るく省エネ。 学校と整えて欲しい。 子どもの生活にかかわることだから。 取り組みやすい事業だと思う。
剪定枝活用事業	<ul style="list-style-type: none"> 技術者の育成、熟練者の雇用。 資源の再利用。 再利用を促すことは大切。利用しないとただのゴミになってしまう。 本市ではどのような活用事業が行われているのか？ 単純にどんなものか知りたい。 燃やしてしまうより、役立つ。
食品ロス削減推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 将来、食糧不足が確実なので、今からロスをなくす習慣を身につけるべき。 学びたいから。 食品ロス講座ではなく期限切れ食品など販売する店舗があればいい。 まだ食品ロスが多い。 どういうことを行えば食品ロスになるのか知りたい。 市内で優れた取組を進める事業者を表彰し、学習拠点とする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食物が廃棄されていくことがたえられない。 ・ いろんな食材の活用法を知りたいから。 ・ 記念になると思う。 ・ 食べ物の大切さ。
新エネルギー導入促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベンチャー企業とのコラボ。 ・ 個人でも簡単に取り組みそうに思うから。 ・ どんなエネルギーも限りがあると思うので、新しく良いものが知りたい。 ・ 新エネルギー技術を知るため。広く広報するため。 ・ 新エネルギーを知りたいから。
自転車活用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車よりは環境にやさしい。 ・ アシスト必要ですか。
4R 推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再利用が可能な物の物流ができれば。 ・ 4R がやはり大切と思ったから。 ・ 少しでもゴミを減量したいから。 ・ 一人一人の考え方をより強固なものにして欲しいから。 ・ 再利用することが大事、使えるものは使う。 ・ 物にあふれた世界だから。 ・ 実際何を行うのか気になる。
環境体験学習推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期的な取組を成功させる為には先ず教育から。 ・ 次世代の子どもたちに自然と共生する大切さを教えることが重要。 ・ 子供達に環境についてどうしていけばよいのか、今何ができるのかを伝えていくことは大切だと思う。 ・ 子どもの環境教育に良さそう。 ・ 交流の機会は大切だと思う。 ・ 次世代への期待。 ・ 教育していくことは良いと思う。未来の為。 ・ 子どもの頃から感じ取ってほしいから。 ・ ゲームをする子供が増加しているため親子の交流が失われてきている。 ・ マインドセットのため。 ・ 子どもがいるので学習させたい。
小型家電リサイクル推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ まだ使えても買い替える時があるから。 ・ 小型家電のエコ化に対する買い替えに助成金を交付しては？ ・ 認定事業者（市内または市内活動の市外事業者はどこなのか）。 ・ 小型家電の廃棄時の不便さや負担を感じている。 ・ 興味がある。
仲よし学級運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行って楽しそうだったので。 ・ 子育ての中で学びが深まるものは若者世代の指示がある。 ・ 食品ロスは重要課題。
緑化推進記念樹等交付事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑化への関心につながる。 ・ 記念になるから楽しめそう。 ・ 東京に比べ関西は力が事業が遅れている。
SDGs 推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容が不明なので無回答とする。 ・ 市民への教育は重要。

	<ul style="list-style-type: none">・ 最近よく耳にするため。・ SDGs 活動に興味がある。・ 将来の世代のために持続可能な環境や資源を壊さずに豊かさの実現のために。・ SDGs 先進都市の後追いを目指しては。・ 都合が合えば受講したい。
公用車活用促進事業	<ul style="list-style-type: none">・ 公用車ほど先駆けるべき。・ 早く学ぶことが良い。・ 個人では資金がかかる。・ イニシャルコストとランニングコストとのバランスがあるが、取り込みが一目でわかる。

2-23 Q11-4.ア～ナ以外で取り組むべきもの

ア～ナ以外で取り組むべきものについて聞いたところ、以下の回答があった。

- 生活道路が非常に悪く、老人や小さな子供が転んでしまう。早急に対応してほしい。
- 市民に対策・事業を実施している事をもっと知らせる方法を考えて下さい！
- 海（港）をきれいにする取り組みなど
- 泉大津市の企業向けの補助金（環境に使用するため）
- 基金運用⇒税金を基金に振り替えるほど活用しているとは思えない。助成の場合受ける特定の人に還元しているようにしか見えない
- 高いゴミ袋代を市民からとってためた基金なら、その活用は市民に直接もっと還すべき
- プラスチックのゴミが多いので減らす取組を普及してほしい
- 上下水道料金の値下げ⇒グリーンカーテンの水やり、花々の水やり、打ち水に使用を控える人が多いと思われる。
- 特に店舗や会社などで優れた取組を行う異業者を表彰し、市民が利用の際参考として比較できるようにする
- エコ意識を高めるための啓発と助成
- 子ども食堂への食品の供給で食品ロスを削減する
- 答えられない
- リサイクル料を払った家電等最終リサイクルした証明を支払者へ通知するシステムを導入すべき
- 蓄電池普及の推進事業
- イは実際に行っているが、ゴミはかなり減り家族が多ければ、より大きな効果あると思う
- 港湾部への原子炉誘致
- 畑を貸していただけたらいいと思う。町ごとに皆で楽しくできる。
- 食品ロスの小中学校での教育、飲食店への啓発
- 省エネ家電購入時の補助金
- 講座は参加者しか知りえないことになる。広く知ってもらう必要があるため SNS 等で情報発信
- 小学校の周りの整備や緑化。子どもが意識できることが 20 年後に響いてくる
- 設置や導入に対する助成だけではなく継続的に何らかの優遇政策の事業化に取り組んでもらいたい
- 緑地や野鳥飛来場所の充実
- 診断、見える化。例えば、市の施設の省エネ、太陽光発電状況など HP に表示や家庭の状況を見える化し成績が良ければ良いことがあるとか？
- き：個人で学ぶ事が難しい
- 難しい、よくわからない
- わからない

- 市の職員が多すぎるので身を守る改革を望む。その費用で環境対策を行う。公用車の削減
- アスファルトの高温化を抑える事業の推進
- 古紙再生利用を具体的に子供達にもっと身近なものにして、古紙の持ち込みを促す。並木通りを作る。数年後立派な並木通りになるよう植樹していく。通りだけでなく木陰を増やすために植樹（小学校・中学校・公共の場）コンクリート地は便利だが土を見直していく⇒反射熱を減らす。
- 無理矢理やっている。税金の有効活用。
- ①家庭用蓄電池導入のための補助金。②市が主体となり一括購入（まとめる事により少しでも安く）。①②2本立てで家庭用蓄電池導入推進をはかる。
- 住宅建築物の脱炭素化を進める為の ZEH 又は ZEB に対応した補助制度新設。
- 蓄電池購入補助
- 街を緑化させるのと LED 街灯（液晶版付）をもっと普及させる。補助金の交付を考える。
- 引き続き事業継続して下さい
- 車から公共交通への転換

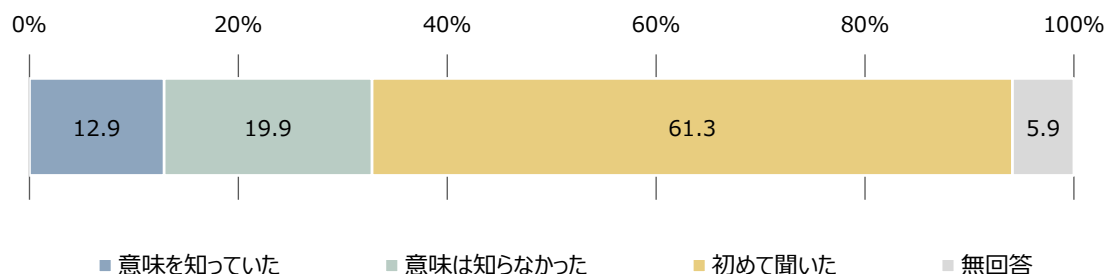
■地球温暖化の取組み状況について

2-24 Q12. 「COOL CHOICE」を知っていたか（単一回答）

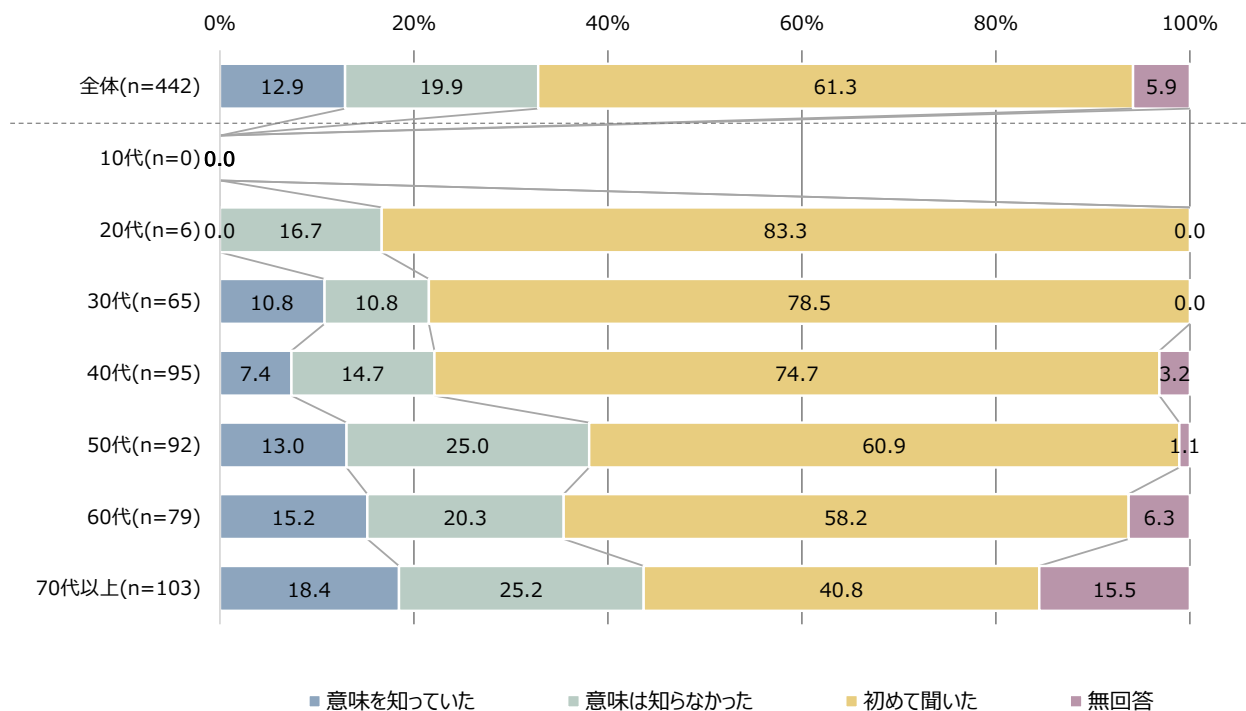
「COOL CHOICE」を知っていたかについて聞いたところ、「初めて聞いた」が61.3%（271件）と最も多く、次いで「意味は知らなかった」が19.9%（88件）、「意味を知っていた」が12.9%（57件）となっている。80%以上が「COOL CHOICE」という言葉を知らないか、知っているても意味を知らなかったことから、「COOL CHOICE」の普及啓発が必要である。

年齢別で見ると、50代以上では「COOL CHOICE」について聞いたことがある回答者（「意味を知っていた」「意味は知らなかった」の合計）が約40%いることに対し、40代以下では約20%と認知度に差が見られた。

図表 2-22 「COOL CHOICE」を知っていたか（n=442）



図表 2-23 年齢別にみた「COOL CHOICE」を知っていたか（n=442）

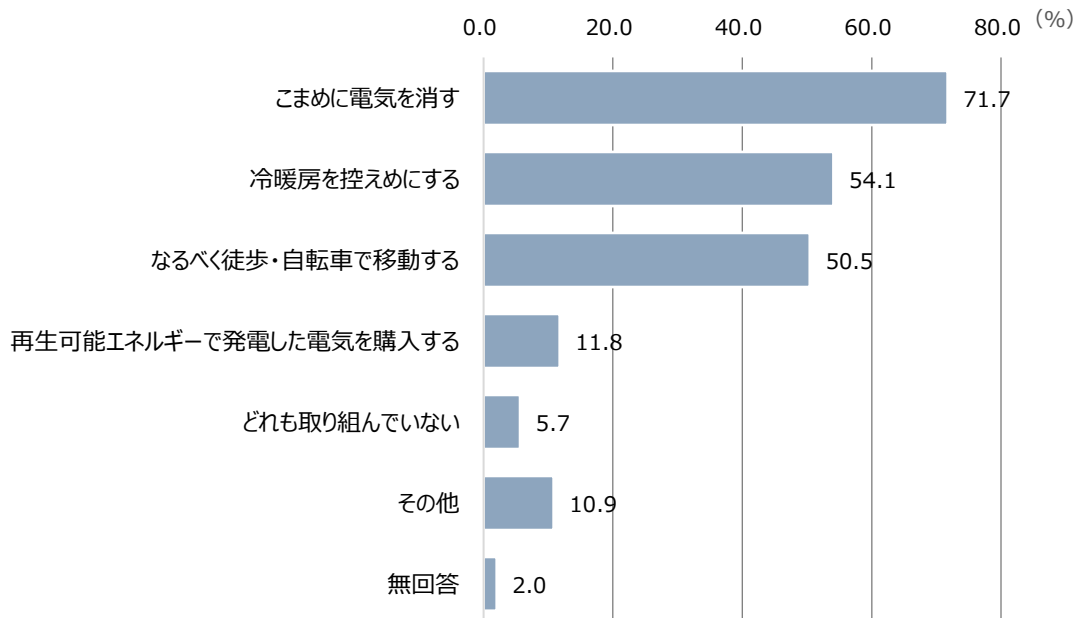


2-25 Q13.日頃取り組んでいる省エネ行動（複数回答）

日頃取り組んでいる省エネ行動について聞いたところ、「こまめに電気を消す」が 71.7%（317 件）と最も多く、次いで「冷暖房を控えめにする」が 54.1%（239 件）、「なるべく徒歩・自転車で移動する」が 50.5%（223 件）となっている。

多くの回答者が日頃の行動の中で省エネに取り組んでいると言える。

図表 2-24 日頃取り組んでいる省エネ行動（n=442）



< 「その他」の内容 >

- エコバックを持参する：2 件
- 効果の良い電気製品への買い替え：2 件
- 家庭菜園のベランダ緑化、雨水タンク、庭木で日陰確保
- エアコンのフィルタ・室外機の洗浄
- マイボトル
- 商業施設で休憩し、家の電力消費の低減
- 夏場は長期休暇を取る
- エアコンの温度設定を自動でセットしている
- 節水
- ゴミの出ない買い物を心がける
- 緑を植える、雨水タンクの設置、コンポストの利用
- 必要なものを厳選して買う（使い捨て商品を買わずに、家電などは修理して長く使うようにしている）
- 何を使うにも無駄遣いをしない

- 勿体ないの意識を持つようにしている。無駄にしない使い方を考えるようになってきた。
- ゴーヤで日除け。雨水タンク（200 リットル）。野菜くずコンポスト。
- 気候危機、気候変動の状況を社会的に訴える活動と実践
- 自動車よりバイクを使用

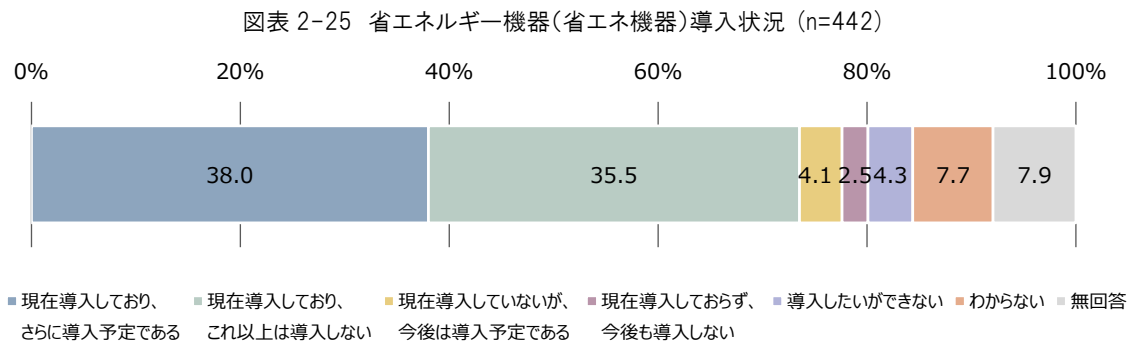
2-26 Q14.省エネ行動に取り組んでいない理由

Q13 で「どれも取り組んでいない」を選んだ回答者について、その理由について聞いたところ、主な回答は以下のとおりであった。

- 成り行きにまかせる。自然には逆らわない。
- 恥ずかしながら、怠慢のゆえ。
- 実際、生活の中であまり考えていない
- 邪魔くさい
- わからない。もっと説明が必要
- 試みたいが暑すぎる
- 1～4になかったから
- 病気にならないように普通に生活している。別に過エネルギー行動はしていない。
- 意識はしているがなかなか実行できない
- 体調不良のため
- 特に意味はない
- 個人ができる行動は CO2 削減効果が小さく、行動を起こすほどの動機付けにならないため
- カーボンゼロの目標がゼロになるとは思えない。単にゼロという数値が現実的でない
- CO2 削減は日本においては無意味と考えるため
- 電気は最小限に冷暖房はつけっぱなし、もともと歩くか自転車で…なので、省エネには取り組んでないような気がする
- ライフクオリティを最優先しており、省エネ活動と合致して行えるケースを自分なりに見つけられていないため

2-27 Q15.省エネルギー機器（省エネ機器）導入状況（単一回答）

省エネルギー機器（省エネ機器）導入状況について聞いたところ、「現在導入しており、さらに導入予定である」が38.0%（168件）と最も多く、次いで「現在導入しており、これ以上は導入しない」が35.5%（157件）となり、回答者の70%以上が何等かの省エネ機器を導入していることが分かった。



それぞれの選択肢を選んだ理由を聞いたところ、主な理由は以下のとおりであった。

「現在導入しており、さらに導入予定である」の理由は、以下の通り。

- 電気代含むコストの削減のため：3件
- 少しでも省エネに貢献したい
- 中古で購入した家についていたが、使い方があまりわからない。古い物だと思うので新しい物に変えたい。
- 手軽に導入できるものがあれば導入する。温暖化防止に少しでも役立てば
- 機器の更新の際、標準で実施しているものは導入する
- 新商品購入時は省エネを常に意識している
- 蓄電池の設置を望んでいるが初期投資が大きいのので難しいと考えている
- 消費電力を抑えたい
- 家電を買い替える時は省エネ家電にする
- 買換え時には省エネ機器へ換える
- 少しでも温暖化に協力したい
- 買換え時と感じれば更に導入していく予定
- 現在、太陽光パネルを設置しているが、今後自前でエネルギー確保を考えているので蓄電池の設置
- こちらにもメリットがある為
- 温暖化対策の一部でも
- エネファームを導入しているが、買い替え時期がきている

「現在導入しており、これ以上は導入しない」の理由は、以下の通り。

- 高価である・費用が掛かる：7件
- 台風の時の停電時のため
- エネファームを導入しているが10年で終わるから
- LEDにほとんど替り、屋根のソーラー温水器も年齢と収入から次の交換は難しい
- 導入できるものを知らない
- これ以上導入できない
- コロナ対策費用が多額になり、そこまでは回らない。給付金が必要！

「現在導入しておらず、今後も導入しない」の理由は、以下の通り。

- 高価である・費用が掛かる
- 高齢のため

「導入したいができない」の理由は、以下の通り。

- 高価である・費用が掛かる：3件
- 置く場所がない
- 賃貸物件に住んでいるため
- どんなものがそれなのかわからない

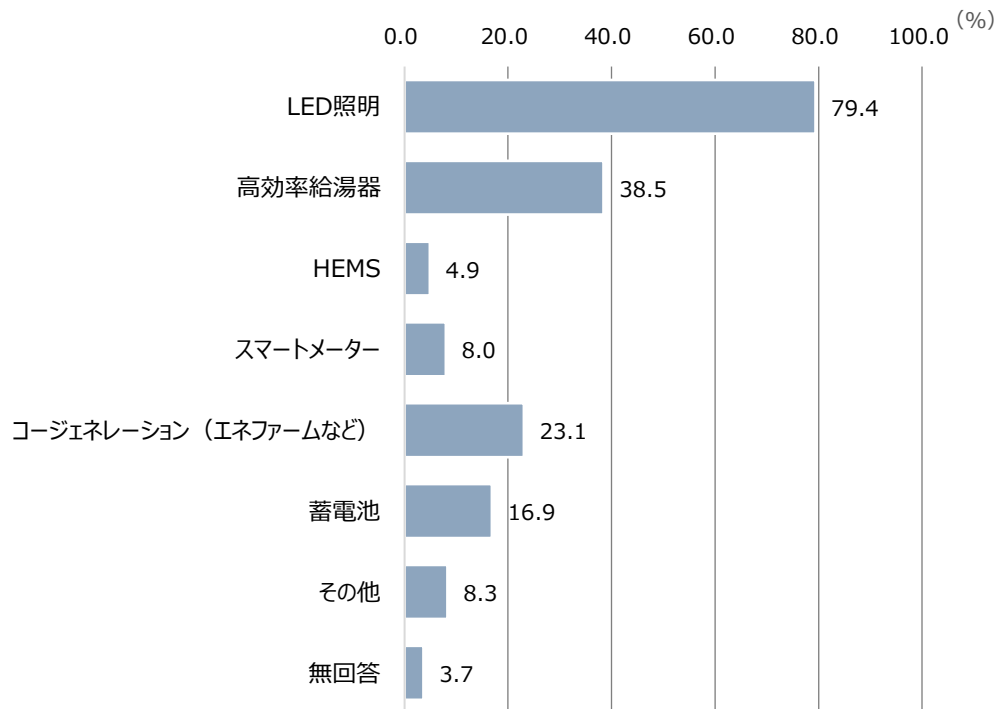
「わからない」の理由は、以下の通り。

- 省エネルギー機器がなにかわからない：3件
- 次回買い替えのタイミングで検討したい

2-28 Q16. 現在導入している省エネルギー機器（省エネ機器）（複数回答）

導入済み省エネ機器について聞いたところ、「LED照明」が79.4%（258件）と最も多く、次いで「高効率給湯器」が38.5%（125件）、「コージェネレーション（エネファームなど）」が23.1%（75件）となっている。

図表 2-26 導入済み省エネ機器（n=325）



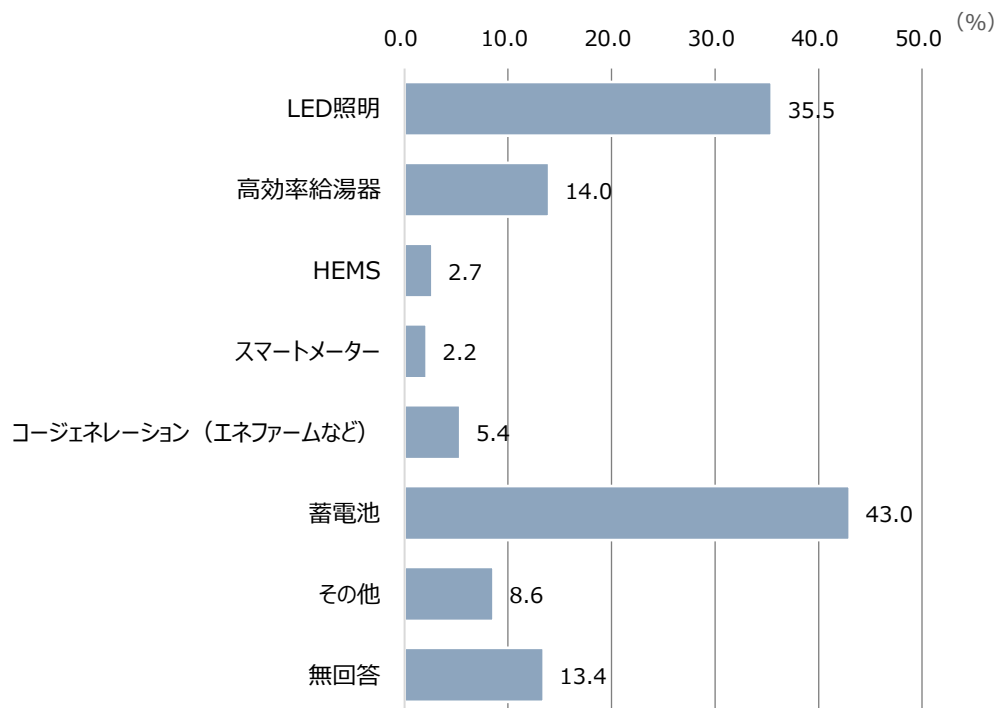
< 「その他」の内容 >

- 電気製品
- 太陽熱温水器（屋根取付）
- エアコン
- 雨水の活用

2-29 Q17.今後導入したい省エネ機器（複数回答）

今後導入したい省エネ機器について聞いたところ、「蓄電池」が43.0%（80件）と最も多く、次いで「LED照明」が35.5%（66件）、「高効率給湯器」が14.0%（26件）となっている。

図表 2-27 導入予定省エネ機器（n=186）



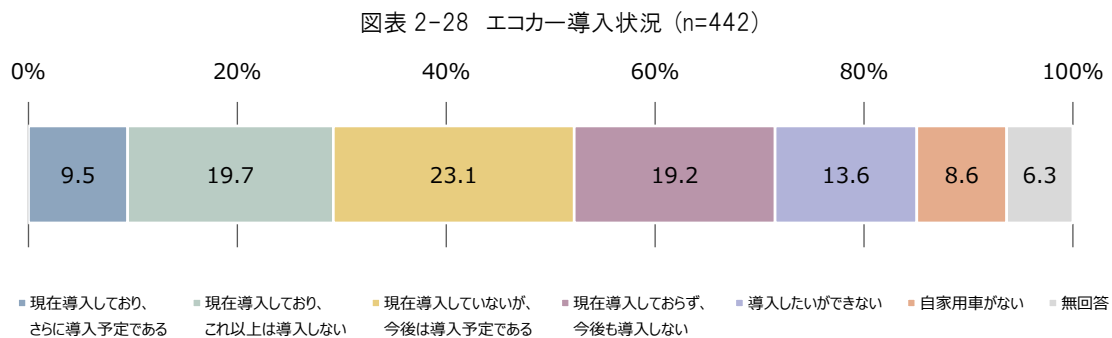
< 「その他」の内容 >

- 家電商品の省エネタイプ：5件
- V2H

2-30 Q18.エコカー導入状況（単一回答）

エコカー導入状況について聞いたところ、「現在導入していないが、今後は導入予定である」が23.1%（102件）と最も多く、次いで「現在導入しており、これ以上は導入しない」が19.7%（87件）、「現在導入しておらず、今後も導入しない」が19.2%（85件）となっている。

回答者の約30%が現在エコカーを導入しており、「現在導入していないが、今後は導入予定である」と合わせると50%以上がエコカーを導入済み若しくは今後導入予定である。



それぞれの選択肢を選んだ理由を聞いたところ、主な理由は以下のとおりであった。

「現在導入しており、さらに導入予定である」の理由は、以下の通り。

- 環境が整っていない。普及率が低く、価格があわない。
- 次の車もハイブリッド車を検討しているので
- 現在、エコカー対応であるが、今後はなるべく車を使わない生活をしたい
- 電気自動車の充電装置が格安になれば考える
- より効果がある車に買い替えたい

「現在導入しており、これ以上は導入しない」の理由は、以下の通り。

- 買い替える予定はない
- BEVの航路距離に不満、給電に時間がかかる
- 価格が高すぎる。補助金が少額すぎる。
- 年齢が70代になり車の運転を辞めるように考えている
- 資金がない。エコカーは持っているがエコになっているか疑問に思う
- 予算がない
- 何年後かに導入を考える

「現在導入していないが、今後は導入予定である」の理由は、以下の通り。

- 高価である・費用が掛かる：4件
- 電気自動車の能力が上がってきており充電設備が増えてくると思う為。又、蓄電池の代替としても使えるので。

- 環境への配慮に加え、ガソリン代が今後よくなると思えないため。
- 年齢が 75 歳だから
- 導入するタイミングを待っている
- 充電設備が少ないため、長距離に不安

「現在導入しておらず、今後も導入しない」の理由は、以下の通り。

- 高価である・費用が掛かる:5 件
- 年齢の問題で:3 件
- 充電スタンド・水素ステーションが少ない:2 件
- 走行可能距離が短い:2 件
- 現在導入しておらず、今後の導入については高齢者につき自家用車の所有を検討中
- 電気自動車を充電する設備が町に少ないから
- 廃車予定
- 現時点でのエコカーの”エコ”の定義がピンとずれしている印象が強いため

「導入したいができない」の理由は、以下の通り。

- 高価である・費用が掛かる:24 件
- 充電スタンド・水素ステーションが少ない:2 件
- 値段が高いし 5 人乗りしかないイメージ。7 人乗りなら:1 件
- 最近リースしている車が何台かある:1 件

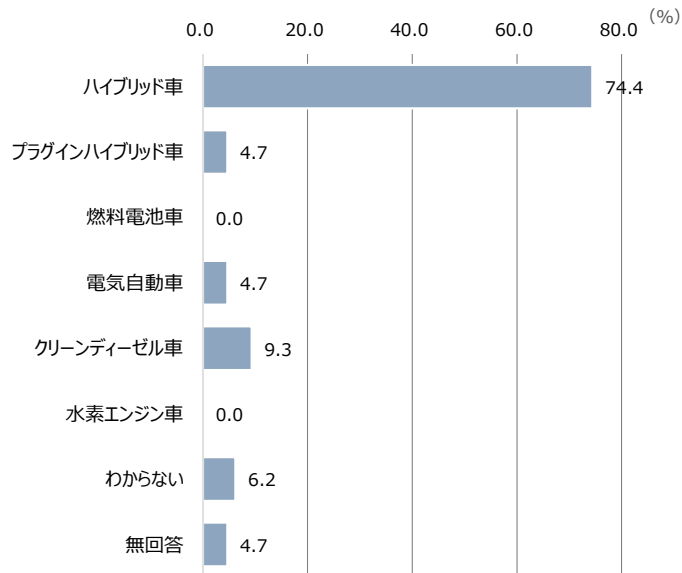
「自家用車がない」の理由は、以下の通り。

- 年齢の問題で

2-31 Q19.現在導入しているエコカー（複数回答）

導入済みエコカーについて聞いたところ、「ハイブリッド車」が74.4%（96件）と最も多く、次いで「クリーンディーゼル車」が9.3%（12件）となった。

図表 2-29 導入済みエコカー（n=129）

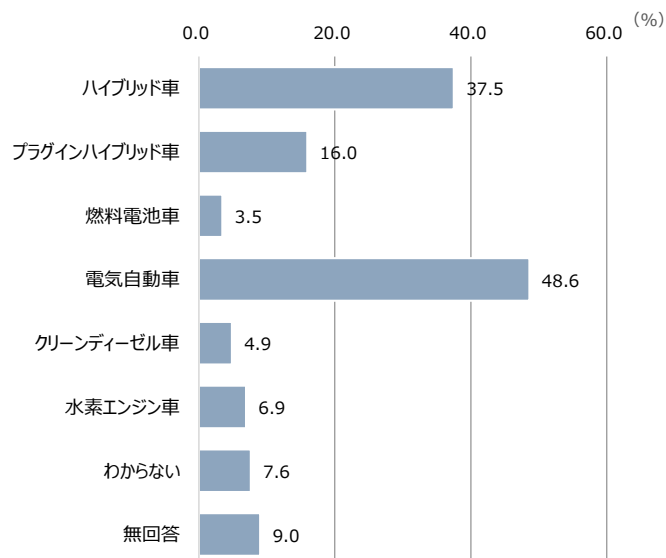


2-32 Q20.今後導入したいエコカー（複数回答）

導入希望エコカーについて聞いたところ、「電気自動車」が48.6%（70件）と最も多く、次いで「ハイブリッド車」が37.5%（54件）、「プラグインハイブリッド車」が16.0%（23件）となっている。

現在導入しているエコカーについての設問では、エコカー所有者の70%以上がハイブリッド車を所有しているとした一方で、今後の導入意向ではハイブリッド車以上に電気自動車に対する関心が高くなっている。

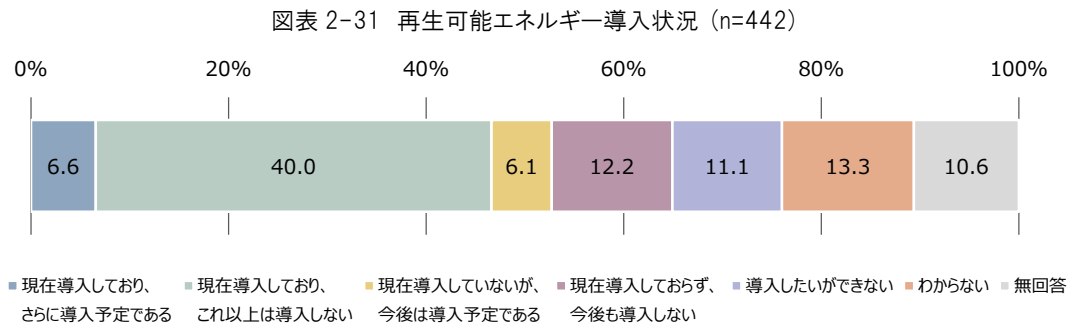
図表 2-30 導入希望エコカー（n=144）



2-33 Q21.再生可能エネルギーの導入状況（単一回答）

再生可能エネルギー導入状況について聞いたところ、「現在導入しており、これ以上は導入しない」が40.0%（177件）と最も多く、次いで「わからない」が13.3%（59件）、「現在導入しておらず、今後も導入しない」が12.2%（54件）となっている。

「現在導入しており、これ以上は導入しない」と「現在導入しており、さらに導入予定である」を合わせると、回答者の約50%が何等かの再生可能エネルギーを導入している。



それぞれの選択肢を選んだ理由を聞いたところ、主な理由は以下のとおりであった。

「現在導入しており、これ以上は導入しない」の理由は、以下の通り。

- 高価である・費用が掛かる：3件
- 買取価格が安くなったため：2件
- 設置場所がない：2件

「現在導入しておらず、今後も導入しない」の理由は、以下の通り。

- 高価である・費用が掛かる：3件
- 再生可能エネルギーが持続可能とは思えないため。
- 買取価格が安くなったため
- 太陽光発電ソーラーパネルを勧めてくる会社が度々家に訪問するが、メリット部分しか話さず詳しく説明しないし胡散臭いので
- 以前導入したが費用対効果が良くなかった
- 太陽光発電のデメリットも良く聞く為

「導入したいができない」の理由は、以下の通り。

- 高価である・費用が掛かる:4件
- 家が荷重に耐えられない:3件
- 賃貸・集合・共同住宅のため:3件
- 屋根が北向きである
- 施策がないため
- 導入資金、太陽光パネルの将来展望が不明

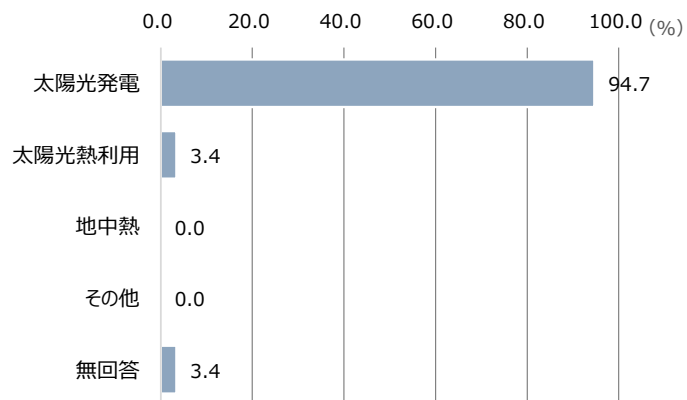
「わからない」の理由は、以下の通り。

- 賃貸・集合・共同住宅のため

2-34 Q22.現在自宅に導入している再生可能エネルギー（複数回答）

導入済み再エネについて聞いたところ、「太陽光発電」が94.7%（195件）と最も多かった。次いで「太陽光熱利用」が3.4%（7件）、「地中熱」と回答した者はなかった。

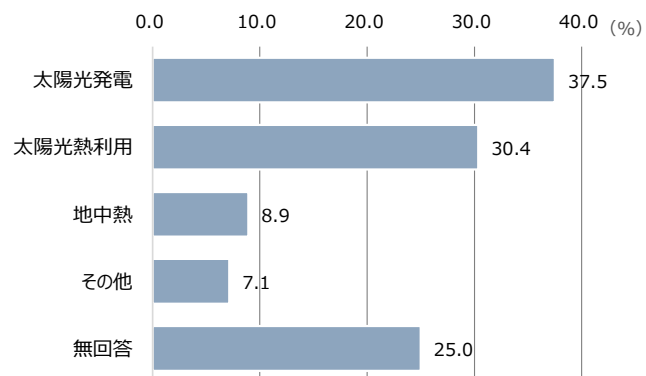
図表 2-32 導入済み再エネ（n=206）



2-35 Q23.今後導入したい再生可能エネルギー（複数回答）

導入希望再エネについて聞いたところ、「太陽光発電」が37.5%（21件）と最も多く、次いで「太陽光熱利用」が30.4%（17件）、「地中熱」が8.9%（5件）となっている。

図表 2-33 導入希望再エネ（n=56）

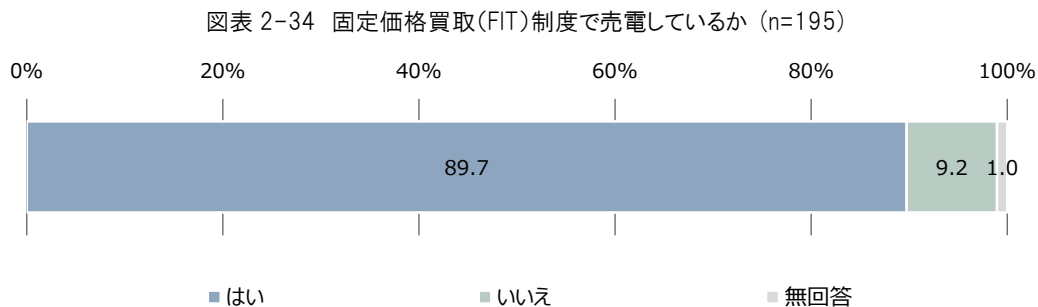


< 「その他」の内容 >

- 蓄電池：4件

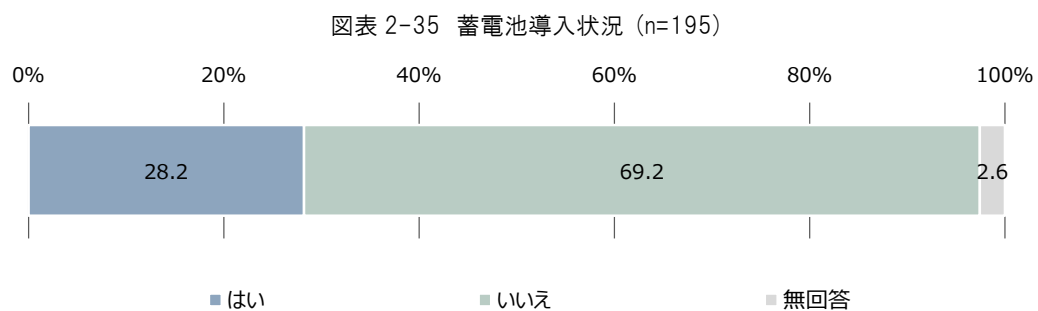
2-36 Q24. (太陽光発電を導入している方への設問) 固定価格買取 (FIT) 制度で売電しているか (単一回答)

固定価格買取 (FIT) 制度で売電しているかについて聞いたところ、「はい」が 89.7% (175 件)、「いいえ」が 9.2% (18 件) となり、太陽光発電を導入している回答者の約 90%が FIT 制度を活用した売電を行っている。



2-37 Q25. (太陽光発電を導入している方への設問) 蓄電池の導入状況 (単一回答)

蓄電池導入状況について聞いたところ、「はい」が 28.2% (55 件)、「いいえ」が 69.2% (135 件) となった。



それぞれの選択肢を選んだ理由を聞いたところ、主な理由は以下のとおりであった。

「はい」の理由は、以下の通り。

- 災害などで停電対策のため:7 件
- 買取価格が安くなったため:2 件
- 売電を優先し、蓄電池に夜間の割安な電気を蓄えて昼間に利用
- 最近の追加工事で夜間も使用できるようにした
- 蓄電池稼働は 3 日間しかもたない。それでは導入しなかったかも。エコカー買った方が良かった

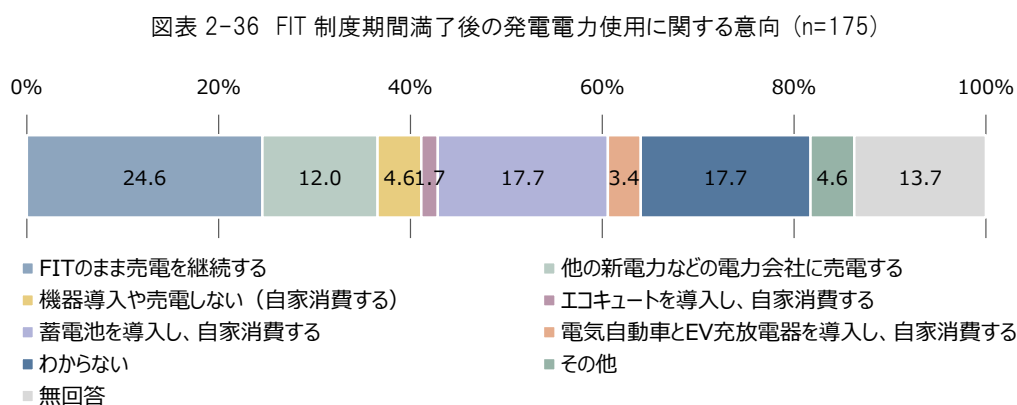
「いいえ」の理由は、以下の通り。

- 高価である・費用が掛かる:47 件
- FIT 中のため:2 件
- まだ蓄電池がそこまでいいものがない:1 件

- する必要がない:1 件
- 価格に見合った効果が得られない:1 件
- 市の補助金がないから:1 件
- 知識がなかった:1 件
- 年齢的に無理、使用する期間（年）が短い:1 件
- 太陽光発電導入時、蓄電池が確立されていなかったの。:1 件

2-38 Q26. (FIT 制度で売電している方への設問) FIT 制度期間満了後の発電電力使用に関する意向 (単一回答)

FIT 制度で売電している回答者に対し、FIT 制度期間満了後の発電電力使用に関する意向について聞いたところ、「FIT のまま売電を継続する」が 24.6% (43 件) と最も多く、次いで「蓄電池を導入し、自家消費する」が 17.7% (31 件)、「わからない」が 17.7% (31 件) となっている。



< 「その他」の内容 >

- EV 車と EE 充電器を導入中
- 蓄電池を利用し、自家消費する予定
- どのように使用すればよいか分からない
- 関電のためとくサービスを考えている
- 現在 1, 2, 4 で検討中、当面は 1 で継続予定
- 制度終了しても充電できればと考えているが他に良い方法があれば誘導等もれえればと考える